

入札案件概要書

【 コンサル ・ 一般委託 ・ 物品 】

件名	令和7年度高座施設組合屋内温水プール設備補修	契約番号
		17
履行場所	海老名市 本郷20番地の1	
履行期間	令和 7 年 9 月 24 日～令和 8 年 2 月 27 日	
予定価格	金 26,147,000 円(税込) 金 23,770,000 円(税抜)	
参加条件	営業種目	090管 200機械器具設置 430建物設備保守管理委託 ※いずれかの営業種目に登録のある者
	参加の地域要件	第 4 区分 地域要件は入札公告で確認してください。
	手持契約 件数制限	なし
	低入札調査 基準価格	予定価格の50% 低入札調査基準価格については、入札告示「8 低価格入札による履行確認 調査」を参照してください。
	必要とする 資格等	
	その他の要件	
業務の概要	温水プール施設の定期点検及び不具合箇所の設備補修等を適切に行う。	
	※補修により発生した発生材等は、適切に処分すること。	
	※現地視察は可能です。	
※入札書、委任状は別添の様式を使用してください。		

条件付一般競争入札参加資格確認申込書

令和 年 月 日

高座清掃施設組合
組合長 内野 優 殿

認定番号

所在地

商号又は名称

代表者職氏名

担当者名

電話番号

e-mailアドレス

F A X 番号

使用印

入札に参加したいので、次のとおり申込します。
なお、この参加申込書及び添付書類の全ての記載事項は、事実と相違ありません。

契約番号 17

件名 令和7年度高座施設組合屋内温水プール設備補修

(高座清掃施設組合 総務課 契約担当
e-mail : keiyaku@kouzaseisou-kanagawa.jp
F A X : 046-238-6010)

※通信欄（二日以内に返信します。）

- 申込書を受け付けました。「条件付一般競争入札参加資格確認通知書」は、審査後電子メール又はFAXで送付します。
- 書類が不足しています。入札公告等を確認して再申請してください。
- _____

組合の確認（記入不要）		
地域	第4区分	
営業種目	090管 200機械器具設置 430建物設備保守管理委託 ※いずれかの営業種目に登録のある者	
経 審	点以上	
そ の 他		

入札書

令和7年9月16日

高座清掃施設組合
組合長 内野 優 殿住 所
商号又は名称
代表者職氏名
代理人氏名印
印高座清掃施設組合契約規則を堅く守り、次の金額
で入札します。

件 名	令和7年度高座施設組合屋内温水プール設備補修											
金 額(税抜)	千	百	十	億	千	百	十	万	千	百	十	円

- (注) 1 金額は、消費税及び地方消費税額を除いた額を記入してください。
- 2 金額は、1つの枠に1字ずつアラビア数字で記入してください。
なお、金額の訂正したものは無効とします。
- 3 入札の際は、入札書を二つ折りにして入札箱に投函してください。
封筒は必要ありません。
- 4 落札にあたって、契約金額は、落札金額に消費税及び地方消費税額
を加えた金額とします。なお、消費税率は、10%とします。



委任状

令和7年9月16日

高座清掃施設組合
組合長 内野 優 殿

委任者 住 所

商号又は名称

代表者職氏名

印

件 名 令和7年度高座施設組合屋内温水プール設備補修

今般私は、次の者を代理人と定め、上記の件に関する入札の一切の権限を委任します。

代理人氏名	被委任者印鑑



質 問 書

高座清掃施設組合 契約担当 殿

設計図書に関して、質疑がある場合は質疑内容を記載し、電子メール又はFAXで送信してください。

○ 送信日時 : 入札公告を確認してください。

○ 送信先 : 高座清掃施設組合 総務課 契約担当

e-mail : keiyaku@kouzaseisou-kanagawa.jp

F A X : 046-238-6010

○ 回 答 : ホームページに順次掲載します。

認定番号		電話番号	
所在地		e-mailアドレス	
商号又は名称		F A X 番号	
代表者職氏名		担当者名	

契約番号	17
契約件名	令和7年度高座施設組合屋内温水プール設備補修
質 疑 内 容	

令和7年度
高座施設組合屋内温水プール設備補修

仕様書

令和7年7月
高座清掃施設組合

目次

第1章. 総 則

第1節	適 用	1
第2節	目 的	1
第3節	件 名	1
第4節	履行期間	1
第5節	履行場所	1
第6節	施設概要	1
第7節	施工条件	1
第8節	業務内容	1
第9節	提出書類	2
第10節	施工体制台帳	2
第11節	守秘義務と中立性の義務	3
第12節	疑 義	3
第13節	業務内容の変更	3
第14節	検 査	3
第15節	成果品	4
第16節	帰 属	4
第17節	環境対策	4
第18節	補修の一時中止	4
第19節	材料の選定・変更	5
第20節	材料検査	6
第21節	建設副産物	6
第22節	関連工事との調整	7
第23節	安全確保	7
第24節	爆発及び火災の防止	8
第25節	監督員による段階確認及び立会等	8
第26節	出来形確認	9
第27節	完成検査及び引渡し	10
第28節	部分使用	10
第29節	施工管理	10
第30節	補修関係者に対する措置請求	11
第31節	後片付け	11
第32節	事故報告書	11
第33節	交通安全管理	12
第34節	施設管理	12

第35節	諸法令の順守	12
第36節	官公庁等への手続等	13
第37節	不可抗力による損害	13
第38節	特許権等	14
第39節	保険の付保及び事故の補償	14
第40節	臨機の措置	14
第41節	瑕疵担保	14
第2章	業務内容	15
第1節	共通仕様	15
第2節	注意事項	15
第3節	特記仕様	16～26

本補修における内容は以下のとおり。詳細については別添設計図書による。

第1章 総 則

第1節 適 用

本仕様書は、高座清掃施設組合（以下「発注者」という。）が行う高座施設組合屋内温水プール設備補修（以下「業務」という。）に適用する。

第2節 目 的

本業務は、高座施設組合屋内温水プール（以下「プール」という。）の定期的な点検及び不具合箇所の補修を実施することを目的とする。

第3節 件 名

令和7年度高座施設組合屋内温水プール設備補修

第4節 履行期間

令和7年9月24日から令和8年2月27日まで

第5節 履行場所

海老名市本郷20番地の1

第6節 施設概要

- (1) 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造、地上2階建一部地下ピット
- (2) 建築面積 2,614.00 m²
- (3) 延床面積 1階2,498.54 m²、2階509.36 m²、計3,007.90 m²

第7節 施工条件

本仕様書で定める事項を除き、現行規格、関係法令によるものとし、受注者は出来る限り工期を短縮する工程を提案するものとする。また、履行期間中閉館となるのは高座施設組合屋内温水プール定期設備補修施工期間のみであることから、開館中の施設利用者に対する利便性、安全性及び防犯対策等の施設管理に努めるとともに、施設機能を確保するための点検、清掃、保守等に配慮することとする。なお、業務にあたっては施工場所や施工時期等について他事業者と調整し対応を行うこと。

第8節 業務内容

第2章特記仕様書によるものとする。また、本業務に伴う部品及び部材等交換を行った場合には、動作確認を行うものとし、交換に伴い発生する発生材については

適切に処分すること。

第9節 提出書類

(1) 業務の着手にあたり、次の書類を提出すること。また、提出された書類の内容を変更する場合は、その理由を明確にし、発注者の承諾を得ること。

- 修繕着手届
- 修繕工程書及び方法書
- 修繕現場代理人等選任届
- 下請負人通知書

(2) 業務の完了にあたり、次の書類を提出すること。また、提出された書類の内容を変更する場合は、その理由を明確にし、発注者の承諾を得ること。

- 修繕完了届
- 修繕完成引渡書
- 成果品、その他発注者が必要とする書類

(3) 契約締結後、現場施工着手前かつ 30 日以内に次の事項を記載した施工計画書を作成し、監督員の承諾を得ること。また、提出された書類の内容を変更する場合は、その理由を明確にし、発注者の承諾を得ること。

- 補修概要
- 実施方針
- 補修工程
- 組織計画
- 下請負業者一覧表
- 監督員立合計画
- 打合せ計画
- 安全教育計画書
- 成果品の内容及び部数
- 使用する主な図書及び基準
- 緊急時を含む連絡体制
- 特記事項等

第10節 施工体制台帳

(1) 受注者は、国土交通省令で定める事項を記載した施工体制台帳を作成し、補修現場に備えなければならない。また、発注者へその写しを提出しなければならない。なお、下請契約に係る契約書には、請負代金の額が記載されたものに個別下請契約約款または下請基本契約書を添付したものでなくてはならない。

- (2) 受注者は、監督員から請求があった場合は、備え置かれた施工体制台帳の閲覧に供しなければならない。
- (3) 受注者は、当該業務を他の下請負業者に請け負わせたときは、国土交通省令で定める事項を記載した再下請負通知書をもって、同項の受注者に対し通知しなければならない。
- (4) 受注者は、他の下請負業者から提出された再下請負通知書を整理し、監督員から請求があった場合は、再下請負通知書の閲覧に供しなければならない。
- (5) 受注者は、公共工事の入札及び契約の適正化の推進に関する法律を定めて、各請負業者の施工の分担関係を表示した施工体系図を作成し、業務関係者が見やすい場所及び公衆が見やすい場所に掲げるとともに監督員に提出しなければならない。
- (6) 受注者は、発注者から、当該業務の施工の技術上の管理をつかさどる者（監理技術者または主任技術者）の設置状況その他業務現場の施工体制が施工体制台帳の記載に合致しているかどうかの点検を求められたときは、これを受けを拒んではならない。
- (7) 受注者は、施工体制台帳、安全衛生管理組織表及び再下請負通知書に変更が生じた場合は、速やかに変更があった年月日を記入して、既に記載されている事項に加えて変更後の事項を記載し、または既に添付されている書類に加えて変更後の書類を添付後、監督員に提出しなければならない。

第11節 守秘義務と中立性の義務

受注者は、本業務に係る全ての事項について、他に漏らしたり、これを利用してはならない。

第12節 疑義

本業務の遂行にあたり、本仕様書に記載がない事項または疑義が生じた場合は、その都度書面にて発注者と受注者の協議によるものとする。ただし、業務遂行上必要と認められる事項については、受注者の費用負担及び責任において実施するものとする。

第13節 業務内容の変更

発注者が必要であると認めた場合には、発注者と受注者の協議により業務内容の変更を行う。

第14節 検査

受注者は、業務完了後、指定された書類一式の検査を受けるものとし、発注者の

検査合格後、検査を合格した書類一式の納品をもって業務完了とする。

第15節 成果品

受注者は、業務の成果品として次の書類を提出すること。

(1) 完成図書	2部(正・副)
補修報告書	
補修図面(関連箇所一式)	
補修写真	
付属品図	
取扱説明書等	
材料検査簿	
打合せ記録簿	
(2) 成果品原稿電子データ(DVD)	1式
(3) その他発注者が求める書類	1式

※電子データ納品物については、最新のウイルス対策ソフトでウイルスチェックを実施し、結果を添付すること。

※補修写真は、「営繕工事写真撮影要領(令和5年度改定)(国土交通省)」に従い撮影すること。なお写真帳(アルバム)については、紙媒体とし、完成図書に含めること。

第16節 帰属

成果品及び作業過程において作成された資料等に対する一切の権利は発注者に帰属する。また、受注者がこれら成果品等を第三者へ提供すること及び内容を転載すること等は禁止する。

第17節 環境対策

- (1) 報告書の用紙は再生紙を使用するように努めること。
- (2) 車両を利用する場合は、作業効率を考慮し車両の使用回数を控えるよう検討すること。また、環境に配慮した車両の使用に努めること。
(例：電気自動車、ハイブリッドカー、低排出ガス車等の使用)
- (3) 業務実施時にOA機器等、電力を使用する際は節電に努めること。
- (4) 本工事に使用する材料の選定に当たっては、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮すること。

第18節 補修の一時中止

- (1) 発注者は、次の各号に該当する場合においては、受注者に対してあらかじめ

書面（一時中止について）をもって通知した上で、必要とする期間、補修の全部または一部の施工について一時中止をさせることができる。また、補修を一時中止する場合は、中止期間中の維持・管理に関する基本計画書を発注者に提出し、承諾を得るものとするとともに、受注者は補修の続行に備え現場を保全しなければならない。なお、暴風、豪雨、地震等、自然的または人為的な事象による補修の中断については、「第 40 節 臨機の措置」により適切に対応しなければならない。

- (ア) 関連する他の設備補修、工事等の進捗が遅れたため本業務の続行を不適當と認めた場合
 - (イ) 業務着手後、環境問題等の発生により業務の続行が不適切または不可能となった場合
 - (ウ) 受注者が契約図書に違反しまたは監督員の指示に従わない場合等、監督員が必要と認めた場合
- (2) 一時中止した補修に係る請負代金額に変更が生じた場合、高座清掃施設組合契約規則第 73 条により、発注者と受注者による協議により金額を決定し、協議書（一時中止中の補修に伴う請負代金額の変更について）を提出しなければならない。一時中止中の補修を再開する場合は、監督員からの通知（一時中止中の補修再開について）を受け、通知に記載される再開日より補修を再開しなければならない。

第 19 節 材料の選定・変更

- (1) 使用する材料は、監督員の確認の検査を受け、これに合格した材料のみを使用しなければならない。
- (2) 使用する材料は、製造、出荷年月等に十分注意し、可能な限り当該業務施工年のものを使用する。
- (3) 設計図書で規格が明示されていない材料で日本工業規格（J I S）に定めのある材料は、軽微なものを除き J I S 製品を使用しなければならない。また、監督官公庁、電気、ガス供給者その他の規格並びに取締り規定がある場合は、これに合格または承認済みのものを使用しなければならない。
- (4) 設計図書に明示されている材料のうち、受注者の理由によりこれを変更したい場合、機能に支障がなく、かつ、材料の全体としての性能が設計仕様を十分に満足する時は、監督員の承諾を得て使用することができる。この場合契約金額の増減は、発注者、受注者の協議により定めるものとする。
- (5) 石綿（アスベスト）含有材料を使用してはならない。

第20節 材料検査

- (1) 設計図書に記載されている材料は検査を行うこと。検査は、必要に応じて検査要領書、試験要領書に基づき実施する。検査及び試験要領書は、その方法等を詳細に記入し、施工の段階に沿って提出し、予め監督員の承諾を受けなければならない。
- (2) 使用する材料のうち発注者が特に必要と認めたものは、製作工場等において監督員の立会のもとで試験を行い、試験結果報告書を提出しなければならない。なお、このときの試験に要する費用は受注者の負担とする。
- (3) 監督員の検査に合格後の材料であっても、損傷その他欠陥を生じ使用に不相当と認められるものは、監督員の指示に従い交換し、検査を受けなければならない。

第21節 建設副産物

- (1) 受注者は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成12年5月31日法律第104号）、資源の有効な利用の促進に関する法律（平成3年4月26日法律第48号）、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年12月25日法律第137号）、建設副産物適正処理推進要綱（平成14年5月30日国土交通省事務次官通達）、建設廃棄物処理指針（平成22年環境省）を順守して、建設副産物の発生量抑制、適正処理及び再生資源の活用を図らなければならない。
- (2) 受注者は、産業廃棄物が搬出される補修にあたっては、産業廃棄物管理票（マニフェスト）により、適正に処理されていることを確認するとともに監督員に提示しなければならない。
- (3) 受注者は、建設リサイクル法に定められた「一定規模以上の」建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥または建設混合廃棄物を施工現場から搬出する場合には、再生資源利用促進計画書を所定の様式に基づき作成し、施工計画書に含め監督員に提出しなければならない。
- (4) 受注者は、再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を作成した場合には、施工完了後速やかに実施状況を記録し監督員に提出しなければならない。
- (5) 建設副産物のうち有価物については、売却益を発生材処分費より差し引く。なお、処分後は、発生材報告書を作成し、処分方法及び引取りを証明する書類を添付の上監督員に提出する。

第22節 関連工事との調整

受注者は、隣接工事または関連工事の請負業者と相互に協力し、施工しなければならない。また、他事業者が施工する関連工事が同時に施工される場合にも、これら関係者と相互に協力しなければならない。

第23節 安全確保

- (1) 受注者は、建設機械施工安全技術指針（国土交通省総合政策局建設施工企画課企画専門官 平成17年3月31日）を参考にして、常に補修の安全に留意し現場管理を行い災害の防止を図らなければならない。ただし、これらの指針は当該業務の契約条項を超えて受注者を拘束するものではない。
- (2) 受注者は、補修施工中、監督員及び管理者の許可なくして、交通の支障となるような行為、または公衆に支障を及ぼすなどの施工をしてはならない。
- (3) 受注者は、補修に使用する建設機械の選定、使用等について、設計図書により建設機械が指定されている場合には、これに適合した建設機械を使用しなければならない。ただし、より条件に合った機械がある場合には、監督員の承諾を得て、それを使用することができる。
- (4) 受注者は、施工箇所及びその周辺にある地上地下の既設構造物に対して支障を及ぼさないよう必要な措置を施さなければならない。
- (5) 受注者は、豪雨、出水、土石流、その他天災に対しては、天気予報などに注意を払い、常に災害を最小限に食い止めるため防災体制を確立しておかなくてはならない。
- (6) 受注者は、施工現場付近における事故防止のため一般の立入りを禁止する場合、その区域に、柵、門扉及び立入禁止の標示板等を設けなければならない。
- (7) 受注者は、施工期間中、安全巡視を行い、施工区域及びその周辺の監視または連絡を行い、安全を確保しなければならない。
- (8) 受注者は、補修契約後ただちに、作業員全員の参加により半日以上時間を割当て、次に挙げるものから実施する内容を選択し、安全に関する研修・訓練等を実施しなければならない。
 - (ア) 安全活動のビデオ等視覚資料による安全教育
 - (イ) 当該業務内容等の周知徹底
 - (ウ) 安全に関する法令、通達、指針等の周知徹底
 - (エ) 当該業務における災害対策訓練
 - (オ) 当該業務の現場で予想される事故対策
 - (カ) その他、安全・訓練等として必要な事項

- (9) 受注者は、業務の内容に応じた安全教育及び安全訓練等の具体的な計画を記した安全教育計画書を作成し、施工計画書に記載して、監督員に提出しなければならない。
- (10) 受注者は、安全教育及び安全訓練等の実施状況について、ビデオ等または実施状況を撮影した写真が添付された報告等を記載した、安全教育報告書を作成し、監督員の請求があった場合は直ちに提示するとともに、検査時に提出しなければならない。
- (11) 受注者は、所轄警察署、道路管理者、鉄道事業者、河川管理者、労働基準監督署等の関係者及び関係機関と緊密な連絡を取り、施工中の安全を確保しなければならない。
- (12) 受注者は、施工現場が隣接または同一場所において別途工事又は補修がある場合は、請負業者間の安全施工に関する緊密な情報交換を行うこと。
- (13) 監督員が、労働安全衛生法（昭和47年法律第57号）第30条第1項に規定する措置を講じる者として、同条第2項の規定に基づき、受注者を指名した場合には、受注者はこれに従うものとする。
- (14) 受注者は、施工中における安全の確保をすべてに優先させ、労働安全衛生法等関連法令に基づく措置を常に講じておくものとする。特に重機械の運転、電気設備等については、関係法令に基づいて適切な措置を講じておかななければならない。
- (15) 災害発生時においては、第三者及び作業員等の人命の安全確保をすべてに優先させるものとし、応急処置を講じるとともに、直ちに監督員及び関係機関に通知しなければならない。

第24節 爆発及び火災の防止

受注者は、火気の使用については、以下の規定によらなければならない。

- (1) 受注者は、火気を使用する場合は、施工中の火災予防のため、その火気の使用場所及び日時、消火設備等を記載した火気使用に係る計画書を監督員に提出しなければならない。
- (2) 受注者は、喫煙等の場所を指定し、指定場所以外での喫煙または火気の使用を禁止すること。
- (3) 受注者は、ガソリン、重油、オイル、塗料等引火性のある物の周辺に火気の使用を禁止する旨の表示を行い、指定場所以外に持ち込まないこと。

第25節 監督員による段階確認及び立会等

- (1) 受注者は、補修着手までに立会を行う機器、日程を記載した立会一覧表を監督員に提出しなければならない。

- (2) 受注者は、監督員の立会を求める場合にあっては、立会願を監督員に提出し、必要な場合は立会要領書を提出しなければならない。
- (3) 監督員は、補修が契約図書どおり行なわれているかどうかの確認をするために必要に応じ、現場または製作工場に立ち入り、立会し、または資料の提出を請求できるものとし、受注者はこれに協力しなければならない。
- (4) 受注者は、監督員による段階確認及び立会に必要な準備、人員及び資機材等の提供並びに写真その他資料の整備をするものとする。
- (5) 監督員による段階確認及び立会の時間は、監督員の勤務時間内とする。ただし、やむを得ない理由があると監督員が認めた場合はこの限りではない。
- (6) 段階確認は、次に掲げる事項に基づいて行うものとする。
 - (ア) 受注者は、その補修監督基準表に示す確認時期において、段階確認を受けなければならない。
 - (イ) 受注者は、事前に段階確認に係わる報告（種別、細別、確認時期等）を段階確認願により監督員に提出しなければならない。また、監督員から段階確認の実施について通知があった場合には、受注者は、段階確認を受けなければならない。
 - (ウ) 段階確認は受注者が臨場するものとし、確認した箇所に係わる監督員が押印した書面を、受注者は保管し検査時に提出しなければならない。
 - (エ) 受注者は、監督員に完成時不可視になる施工箇所の調査ができるよう十分な機会を提供するものとする。
- (7) 監督員は、設計図書に定められた段階確認において臨場を机上とすることができる。この場合において、受注者は、施工管理記録、写真等の資料を設備し、監督員にこれらを提示し確認を受けなければならない。

第26節 出来形確認

- (1) 受注者は、発注者に請求を行った場合は、出来形部分に係る検査を受けなければならない。
- (2) 受注者は、発注者に部分払いの請求を行うときは、同項(1)の検査を受ける前に補修の既成部分払申請書及び既成部分払検査依頼書を作成し、監督員に提出しなければならない。
- (3) 検査員は、監督員及び受注者の臨場の上、補修目的物を対象として補修の出来形に関する資料と対比し、次に掲げる検査を行うものとする。
 - (ア) 補修の出来形について、形状、寸法、精度、数量、品質及び出来ばえの検査
 - (イ) 補修管理状況について、書類、記録及び写真等を参考にした検査

- (4) 発注者は、出来形部分に係る検査に先立って、監督員を通じて受注者に対して検査日を通知するものとします。

第27節 完成検査及び引渡し

受注者は補修完了後、修繕完成届を発注者に提出し、発注者の検査を受けること。受注者は完成検査に合格後、本仕様書に指定された成果品及び提出書類一式を納品し、発注者の承認をもって補修の引渡しとする。なお、納品後に不備または不都合な点が発見された場合、受注者は速やかに訂正しなければならない。

- (1) 受注者は、修繕完成届を監督員に提出する際には、次に掲げる要件をすべて満たさなくてはならない。
- (ア) 設計図書（追加、変更指示も含む。）に示されるすべての補修が完成していること。
 - (イ) 監督員の請求した改造が完了していること。
 - (ウ) 設計図書により義務付けられた記録写真、出来形管理資料、補修関係図等の資料の整備がすべて完了していること。
 - (エ) 契約変更を行う必要が生じた補修においては、最終変更契約を発注者と締結していること。
- (2) 発注者は、検査に先立って、受注者に対して検査日を通知するものとする。

第28節 部分使用

- (1) 発注者は、受注者の同意を得て部分使用できるものとする。
- (2) 受注者は、発注者が当該補修に係わる部分使用を行う場合には、中間検査または監督員による品質及び出来形等の検査（確認を含む。）を受けるものとする。

第29節 施工管理

- (1) 受注者は、補修の施工にあたっては、施工計画書に示される作業手順に従い施工し、品質及び出来形が設計図書に適合するよう、十分な施工管理をしなければならない。
- (2) 受注者は、施工に先立ち工事現場またはその周辺の一般通行人等が見易い場所に、補修名、工期、発注者名及び受注者名を記載した標示板を設置し、補修完成後は速やかに標示板を撤去しなければならない。ただし、標示板の設置が困難な場合は、監督員の承諾を得て省略することができるものとする。

- (3) 受注者は、補修期間中現場内及び周辺の整理整頓に努めなければならない。
- (4) 受注者は、補修に使用する指定機械を搬入・搬出する際には、監督員に通知しなければならない。
- (5) 受注者は、施工に際し施工現場周辺並びに他の構造物及び施設などへ影響を及ぼさないよう施工しなければならない。また、影響が生じた場合には直ちに監督員へ通知し、その対応方法等に関して協議するものとします。また、損傷が受注者の過失によるものと認められる場合、受注者自らの負担で原形に復元しなければならない。
- (6) 受注者は、作業員が健全な身体と精神を保持できるよう作業場所、現場事務所及び作業員宿舎等における良好な作業環境の確保に努めなければならない。
- (7) 受注者は、工事中に拾得物を発見または拾得した場合、直ちに監督員及び関係官公庁へ通知し、その指示を受けるものとします。

第30節 補修関係者に対する措置請求

- (1) 発注者は、現場代理人が補修目的物の品質・出来形の確保及び工期の順守に関して、著しく不相当と認められるものがあるときは、受注者に対して、その理由を明示した書面により、必要な措置をとるべきことを請求することができる。
- (2) 発注者は、主任技術者（監理技術者）、専門技術者（これらの者と現場代理人を兼務する者を除く。）が補修目的物の品質・出来形の確保及び工期の順守に関して、著しく不相当と認められるものがあるときは、受注者に対して、その理由を明示した書面により、必要な措置をとるべきことを請求することができる。

第31節 後片付け

受注者は、施工の完了または一部の完成後は仮設物を取払い、受注者所有の機器、残材、残骸及び各種の仮設物を速やかに片付け、かつ、場外に撤去するとともに、現場周り及び施工にかかる部分を清掃し、かつ、整然とした状態にするものとする。

第32節 事故報告書

受注者は、補修の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、事故報告書を期日までに、提出しなければならない。

第33節 交通安全管理

- (1) 受注者は、補修用運搬路として、公衆に供する道路を使用するときは、積載物の落下等により、路面を損傷し、あるいは汚損することのないようにするとともに、特に第三者に施工公害による損害を与えないようにしなければならない。なお、第三者に施工公害による損害を及ぼした場合は、高座清掃施設組合契約規則第77条によって処置するものとする。
- (2) 受注者は、補修用車両による資材及び機械などの輸送を伴う補修については、関係機関と打合せを行い、交通安全に関する担当者、輸送経路、輸送期間、輸送方法、輸送担当者、交通誘導員の配置、標識安全施設等の設置場所、その他安全輸送上の事項について協議の上、災害の防止を図らなければならない。
- (3) 公衆の交通が自由、かつ、安全に通行するのに支障となる場所に材料または設備を保管してはならない。受注者は、毎日の作業終了時及び何らかの理由により施工を中断するときには、交通管理者協議で許可された常設作業帯内を除き一般の交通に使用される路面からすべての設備その他の障害物を撤去しなくてはならない。
- (4) 受注者は、補修の施工にあたっては、作業区域の標示及び関係者への周知など、必要な安全対策を講じなければならない。
- (5) 受注者は、建設機械、資材等の運搬にあたり、車両制限令（昭和36年政令第265号）第3条における一般的制限値を超える車両を通行させるときは、道路法第47条の2に基づく通行許可を得ていることを確認しなければならない。
- (6) 本補修においては、補修現場までの通行道路において、東海道新幹線高架下を通行する。東海道新幹線高架高さは3.7mである。

第34節 施設管理

受注者は、施工現場における公物（各種公益企業施設を含む。）または部分使用施設について、施工管理上、契約図書における規定の履行をもっても不都合が生ずる恐れがある場合には、その処置について監督員と協議できるものとする。

第35節 諸法令の順守

- (1) 受注者は、当該業務に関する諸法令を順守し、補修の円滑な進捗を図るとともに、諸法令の適用運用は受注者の責任において行わなければならない。
- (2) 受注者は、諸法令を順守し、これに違反した場合発生するであろう責務が、発注者に及ばないようにしなければならない。

- (3) 受注者は、当該補修の計画、図面、仕様書及び契約そのものが同項1号の諸法令に照らし不相当または矛盾していることが判明した場合には直ちに監督員と協議しなければならない。

第36節 官公庁等への手続等

- (1) 受注者は、履行期間中、関係官公庁及びその他の関係機関との連絡を保たなければならない。
- (2) 受注者は、補修の施工にあたり必要となる関係官公庁及びその他の関係機関への届出等を、法令、条例または設計図書の定めにより実施しなければならない。また、組合が届け出るべき届出等の提出に必要な書類作成等に協力すること。
- (3) 受注者は、諸手続にかかる許可、承諾等を得たときは、その写しを監督員に提出しなければならない。
- (4) 受注者は、地元関係者等から補修の施工に関して苦情があり、受注者が対応すべき場合は誠意をもってその解決にあたらなければならない。
- (5) 受注者は、国、地方公共団体、地域住民等と工事の施工上必要な交渉を、自らの責任において行うものとする。受注者は、交渉に先立ち、監督員に事前報告の上、これらの交渉にあたっては誠意をもって対応しなければならない。
- (6) 受注者は、前号までの交渉等の内容は、後日紛争とならないよう文書で確認する等明確にしておくとともに、状況を随時監督員に報告し、指示があればそれに従うものとする。

第37節 不可抗力による損害

- (1) 受注者は、災害発生後直ちに被害の詳細な状況を把握し、工事災害通知書により監督員に報告するものとする。
- (2) 設計図書で定めた基準とは、次に掲げるものを言う。
- (ア) 降雨に起因する場合次のいずれかに該当する場合とする。
- ① 24時間雨量（任意の連続24時間における雨量をいう。）が80mm以上
 - ② 1時間雨量（任意の60分における雨量をいう。）が20mm以上
 - ③ 連続雨量（任意の72時間における雨量をいう。）が150mm以上
 - ④ その他設計図書で定めた基準
- (イ) 強風（最大風速（10分間の平均風速で最大のものをいう。）が15m/秒以上あった場合）に起因する場合
- (ウ) 河川沿いの施設にあたっては、河川の警戒水位以上、またはそれに準ずる出水により発生した場合

- (エ) 地震、津波、豪雪に起因する場合周囲の状況により判断し、相当の範囲にわたって他の一般物件にも被害を及ぼしたと認められる場合

第38節 特許権等

- (1) その他の第三者の権利とは、実用新案権、意匠、著作権その他日本国の法令に基づき保護される第三者の権利をいいます。受注者は、特許権、その他第三者の権利となっている施工方法または施工方法の使用に関する費用の負担について、第三者と補償条件の交渉を行う前に、監督員と協議しなければならない。
- (2) 受注者は、業務の遂行により発明または考案したときは、書面により監督員に報告するとともに、これを保全するために必要な措置を講じなければならない。また、出願及び権利の帰属等については、発注者と協議するものとする。
- (3) 発注者が、引渡しを受けた契約の目的物が著作権法（昭和45年法律第48号）第2条第1項第1号に規定する著作物に該当する場合は、当該著作物の著作権は発注者に帰属するものとします。なお、前号の規定により出願及び権利等が発注者に帰属する著作物については、発注者はこれを自由に加除または編集して利用することができる。

第39節 保険の付保及び事故の補償

- (1) 受注者は、雇用保険法、労働者災害補償保険法、健康保険法及び中小企業退職金共済法の規定により、雇用者等の雇用形態に応じ、雇用者等を被保険者とするこれらの保険に加入しなければならない。
- (2) 受注者は、雇用者等の業務に関して生じた負傷、疾病、死亡及びその他の事故に対して責任をもって適正な補償をしなければならない。

第40節 臨機の措置

- (1) 受注者は、災害防止等のため必要があると認めるときは、臨機の措置をとらなければならない。また、受注者は、措置をとった場合には、その内容を速やかに監督員に報告しなければならない。
- (2) 監督員は、暴風、豪雨、洪水、地震、地すべり、落盤、火災、騒乱、暴動その他自然的または人為的事象（以下「天災等」という。）に伴い、工事的物の品質・出来形の確保及び工期の順守に重大な影響があると認められるときは、受注者に対して臨機の措置をとることを請求することができる。

第41節 瑕疵担保

- (1) 発注者は、工事目的物に瑕疵があるときは、受注者に対して相当の期間を定めてその瑕疵の修補を請求し、又は修補に代え若しくは修補とともに損害の賠償を請求することができる。
- (2) 発注者は、瑕疵の修補又は損害賠償の請求は、規定による引渡しを受けた日から、1年以内に行わなければならない。ただし、その瑕疵が受注者の故意又は重大な過失により生じた場合には、請求を行うことのできる期間は10年とする。
- (3) 発注者は、工事目的物が第一項の瑕疵により滅失又はき損したときは、第二項に定める期間内で、かつ、その滅失又はき損の日から6か月以内に第一項の権利を行使しなければならない。
- (4) 第一項の規定は、工事目的物に瑕疵が支給材料の性質又は発注者若しくは監督員の指示により生じたものであるときは適用しない。ただし、受注者がその材料又は指示の不相当であることを知りながらこれを通知しなかったときは、この限りではない。

第2章 業務内容

第1節 共通仕様

- (1) 受注者は、作業前に監督員と十分に打合せを行い、施設の運用及び作業等に支障のないように実施すること。
- (2) 点検・補修作業に当たり、工程表、点検・施工要領等を記載した施工計画書を提出し、監督員と十分に打合せをすること。
- (3) 点検作業中に部品交換の必要性が生じた場合は、直ちに報告すること。
- (4) 点検結果により緊急的に補修が必要となった場合は、監督員と協議し、修理依頼書、補修打合簿を提出し、補修を行うものとする。
- (5) 溶接による補修については、溶材を含むものとします。
- (6) 本仕様書に記載のない軽微な各部塗装については、塗料を含むものとします。
- (7) 補修によって発生する発生材、廃材等については、適正な処分をすること。
- (8) 補修の実施にあたり、養生を行い既存施設に損傷、汚損等を発生させないこと。これらが確認された場合には、受注者の責任において補修すること。
- (9) 補修完了後は、整理清掃後片付けを実施すること。

第2節 注意事項

- (1) 受注者は、作業中みだりに予定以外の場所に立ち入らないこと。

(2) 主任技術者は、安全措置のすべてについて確認するとともに作業を直接指揮し、必要に応じて監督員の意見を求め適切な処理を講ずること。

第3節 特記仕様

本補修における内容は以下のとおり。詳細については別添設計図書による。

(1) 循環ポンプ整備

名称	25mプール循環ポンプ (FSP-1)		
メーカー	荏原製作所		
型式(製造番号)	100×80FS4K511 片吸込渦巻ポンプ (FSP-1 : PN734460.1)		
能力	100φ×80φ×1700L/min×23m		
ベアリング番号	6307VV ×2個		
モーター型番	IKKH3-FBKA21E (東芝製) 200V・11kW・4P、定格：46A		
製造番号	(FSP-1 : 16080153166)		
ベアリング番号	6208ZZ / 6310ZZ		
ポンプ設置場所	プールピット (地下ピット)		
補修内容	ポンプ交換、架台交換、継手交換		
使用材料	品名	仕様	数量
	ポンプ	100×80FS4K511 F (羽根車 : SCS13)	1台
	圧力計	100φ、0.6Mpa	1個
	連成計	100φ、0.4Mpa	1個
	防振架台	DB-6 (荏原製作所)	1式
	ゴム防振継手	100A×10k	1個
	ゴム防振継手	80A×10k	1個
	鋼製架台	製作品 溝形鋼 t5×50×100 780×1300×100 防錆塗装	1台

名称	流水プール循環ポンプ (FSP-4)		
メーカー	荏原製作所		
型式(製造番号)	80×65FS4J55.5E 片吸込渦巻ポンプ (PN734461.2)		
能力	80φ×65φ×1000L/min×20m		
ベアリング番号	6307VV ×2個		
モーター型番	IKKH3-FBKAW21E (東芝製) 200V、5.5kW、4P、定格：24.6A		
製造番号	—		
ベアリング番号	6208ZZC3 / 6308ZZC3		

補修内容	分解整備（部品交換及び清掃）		
使用材料	品名	仕様	数量
	玉軸受	6307VV	2個
	玉軸受	6208ZZC3	1個
	玉軸受	6308ZZC3	1個
	Oリング		1個
	メカニカルシール		1個
	カップリングボルト		6個
	水切りリング		1個

名称	幼児プール循環ポンプ（FSP-6）		
メーカー	荏原製作所		
型式（製造番号）	50×40FS4J52.2E 片吸込渦巻ポンプ（FSP-6：T183374A9）		
能力	50φ×40φ×208L/min×21.2m		
ベアリング番号	6305VV ×2個		
モーター型番	IKH3-FBKAW21E（東芝製） 200V、2.2kW、4P、定格：11.2A		
製造番号	不明		
ベアリング番号	6206ZZC3 / 6205ZZC3		
補修内容	分解整備（部品交換及び清掃）		
使用材料	品名	仕様	数量
	玉軸受	6305VV	2個
	玉軸受	6206ZZC3	1個
	玉軸受	6205ZZC3	1個
	Oリング		1個
	メカニカルシール		1個
	カップリングボルト		4個
	水切りリング		1個

名称	男女浴槽循環ポンプ（女子浴槽用 FSP-7、男子浴槽用 FSP-10）		
メーカー	荏原製作所		
型式（製造番号）	32×32FS2F5.75E 女子（FSP-7：P16800235.1） 男子（FSP-10：0P00258.2）		
能力	32φ×32φ×40L/min×23.5m		
基数	男女各1基		
ベアリング番号	6204VV ×2個（1基あたり。以下同様）		

モーター型番	IKH3-FCKW21E (東芝製) 200V、0.75kW、4P、定格：3.4A		
製造番号	男子：64035531 女子：64035530		
ベアリング番号	6204ZZC3×2個		
補修内容	分解整備(部品交換及び清掃)		
使用材料	品名	仕様	数量
	玉軸受	6204VV	4個
	玉軸受	6204ZZC3	4個
	Oリング		2個
	メカニカルシール		2個
	カップリングボルト		6個
	水切りリング		2個

名称	余熱利用加熱ポンプ (HP-1) No.2 系統：HEX-6		
メーカー	荏原製作所		
型式(製造番号)	125×100FS4JC57.5 (TN70457-AY)		
能力	125φ100φ×1500L/min×15.9m		
ベアリング番号	6307VV ×2個		
モーター型番	IKKH3-FBKA21E (東芝製) 200V、7.5kW、4P 30.8A		
製造番号	16080168665		
ベアリング番号	6208ZZC3 /6308ZZC3		
補修内容	分解整備(部品交換及び清掃)		
使用材料	品名	仕様	数量
	玉軸受	6307VV	2個
	玉軸受	6208ZZC3	1個
	玉軸受	6308ZZC3	1個
	Oリング		1個
	グラントパッキン		4個
	カップリングボルト		6個
	水切りリング		1個

名称	貯湯槽循環返送湯ポンプ (SP-1) No.1		
メーカー	荏原製作所		
型式(製造番号)	25LPS5.15E (T1831810A9)		
ベアリング番号	6204DDW /6203VV		
モーター型番	モーター一体型 200V、0.4kW、4P 1.1A		

補修内容	分解整備（部品交換及び清掃）		
使用材料	品名	仕様	数量
	玉軸受	6204DDW	1個
	玉軸受	6203VV	1個
	Oリング		1個
	メカニカルシール		1式

(2) オーバーフロ槽清掃

名称	RC水槽	FRP水槽	
容量	21 t (49.3 m ³)	8 t (28 m ³)	
主要寸法 (m)	3.7×3.4×1.7H	4.0×2.0×1.0H	
基数	1基	1基	
内容	清掃（清掃種別D：水による（ウォータージェット））		
使用材料	品名	仕様	数量
	雑材・消耗品費		1式

(3) 一般給水用ポンプユニット補修

名称	一般給水用ポンプ（WP-2）（自動給水装置）No. 1、No. 2		
型式	ステンレス製多段渦巻きポンプユニット		
能力	32Φ×50Φ×240L/min×8m		
制御方式	減圧弁による突出圧力一定制御		
基数	2基		
補修内容	圧力タンク交換、内部部品交換（2台）		
使用材料	品名	仕様	数量
	圧力タンク	BT-10 フランジ付（荏原）	1個
	ゲートバルブ A 組立 完	23/33 用	4個
	ゲートバルブ B 組立 完	23/33 用	2個
	メカニカルシール	EA560M-15	2個
	Oリング	3.1×150	2個
	シールリング	75×6.3	2個
	Oリング	G-125 3.1×125	6個
	Oリング	G-35 3.1×35	1個

(4) 給湯用膨張タンクメンテナンス用バルブ取付け

名称	膨張タンク (E X T-2)		
系統	給湯		
型式	ダイヤフラム式 (AST-260V)		
タンク容量	238 L (有効容量: 107 L)		
最高使用圧力	4.9kgf/cm ² (空気封入圧: 2.2kgf/cm ²)		
寸法	600Φ×1,124 (高)		
補修内容	メンテナンス用配管・バルブ取付、水抜きバルブ取付、配管保温		
使用材料	品名	仕様	数量
	配管材	SUS304 TP32A	4m
	ゲート弁	SUS304 32A	2個
	チーズ	SUS13 32A	2個
	エルボ	SUS13 32A	2個
	ソケット	SUS13 32A	1個
	キャップ	SUS13 32A	2個

(5) 余熱利用設備ドレン配管ストレーナ補修

補修内容	ストレーナ交換		
使用材料	品名	仕様	数量
	ストレーナ	SW-10 FCD450 40A	1個

(6) 流水プール槽補修

名称	リバープール
型式	FPS-20040 型
寸法	本体: 長 22.15m×幅 5.42m×高 1.68m スミングエリア: 長 20.00m×幅 4.00m×深 1.00m
プール本体材質	ステンレス鋼 (SUS304)
駆動電動機	2.2kW×6P×5台、AC200V、50/60Hz
制御方式	インバータによる周波数制御
塗装	SS部: タールエポキシ樹脂塗装(黒色) スミングエリア内面ステンレス部: プール専用エポキシ樹脂塗装
補修内容	搬入経路・塗装作業範囲養生、既存タイル撤去・搬出、床面シブ穴等補修、既存塗膜除去、プール床面 (80 m ²)・吸排口 (20 m ²) 塗装及びノンスリップ加工 (塗装後の仕上研磨・洗浄を含む)、コースライン・水深表示、塗装後洗浄・清掃

使用材料	品名	仕様	数量
	下塗り塗装	ポールコート非鉄金属用プライマー	100 m ² (施工面積)
	中塗り塗装	ポールコートスペシャル	100 m ² (施工面積)
	上塗り塗装	ポールコートスペシャル AU	100 m ² (施工面積)
	ノンスリップ加工	6号珪砂+ポールコートスペシャル AU	80 m ² (施工面積)

(7) 空調機 (AC-7) 点検・熱交換器更新

AC-7-1 1F 事務室系統			(事務室、監視員控室、監視員室)	
区分	機種名	機器番号	容量能力	動力
室外機	RRXYP140P	A000394	定格冷房能力：14.0kW 定格暖房能力：16.0kW	3Φ、200V、3.97kW
	熱交換器 (型式：クロスフィンコイル式)、 圧縮機 (型式：全密閉スクロール式、3Φ、200V、3.0kW) ファン (型式：プロペラファン、3Φ、200V、0.35kW、風量 75 m ³ /min) 防振架台 (型式：K-KSV160GAB)			
室内機 (事務室、 監視員室) (AC-7-1)	FXYCP28M	F003209	冷房能力：2.8kW	1Φ、200V、0.083kW
	同	F003263	暖房能力：3.2kW	
(附帯機器)	熱交換器 (型式：クロスフィンコイル式)、 シロココファン (型式：D17K2AB1、1Φ・200V・15W、風量 9.0 m ³ /min) 補助ヒーター (別電源：0.75kW) ワイヤードリモコン (型式：BRC1C1) フィルター (型式：波型メッシュ：135×485mm (2枚/1台分) (防塵捕集))			
(監視員控室) (AC-7-2)	FXYCP22M	F004291	冷房能力：2.2kW 暖房能力：2.5kW	1Φ、200V、0.078kW
(附帯機器)	熱交換器 (型式：クロスフィンコイル式)、 シロココファン (型式：D17K2AA1、1Φ・200V・10W、風量 70 m ³ /min) 補助ヒーター (別電源：0.75kW) ワイヤードリモコン (型式：BRC1C1) フィルター (型式：波型メッシュ：135×485mm (2枚/1台分) (防塵捕集))			
点検内容	室内機点検調整、室外機点検調整			

補修内容	室内機部品交換（熱交換器・仕切板・サーミスタ）、室外機冷媒作業（真空乾燥・冷媒充填・冷媒回収・フロン再生処理）		
使用材料	品名	仕様	数量
	クロスフィン熱交換器	2317331	1個
	指示銘板	2322249	1個
	熱交仕切材組立品	071056J	2個
	熱交取付板(前)組立品	071048J	1個
	熱交取付板(前)組立品	071049J	1個
	熱交取付板(後)組立品	071047J	2個
	サーミスタ（熱交高温用）	1985104	1個
	サーミスタ（熱交・吸入管用）	063150J	1個
	冷媒	R410A（kg単位）	5kg

(8) 浴室タイル補修

補修内容	既存床タイル撤去、既存壁タイル撤去、床タイル張付、壁タイル張付、養生、清掃 ※施工範囲：壁タイル(15 m ²)、床タイル(36 m ²)		
使用材料	品名	仕様	数量
	床タイル	磁器質モザイクタイル	材工共
	壁タイル	磁器質タイル	材工共

(9) トイレ大便器補修

該当箇所	2階男子1か所。2階女子2か所		
補修内容	便器交換、床シート補修（耐水工法、継目熱風溶接工法）（施工面積4.8 m ² ）、トイレブース交換（3か所）		
使用材料	品名	仕様	数量
	洋便器(リモデル)	SC597BM、SH596BAR、TC301、HP4307(TOTO)	3組
	複層ビニル床シート(FS)	マーブル 2.0×1820mm	1式
	接着剤	USセメント 3kg 溶接棒 50m入	3組
	ブース	TB-GPR	1式

(10) 受水槽廻りバタフライ弁補修

名称	プール用受水槽 (WT-1)		
型式、材料	複合板パネル組立式 中仕切付、FRP 製		
寸法、有効容量	10000×3000×高 2000(中仕切 3000×高 2000)、46 m ³		
名称	一般給水用受水槽 (WT-2)		
型式、材料	複合板パネル組立式 中仕切付、FRP 製		
寸法、有効容量	3000×3000×高 2000(中仕切 3000×高 2000)、13 m ³		
補修内容	弁交換、保温交換		
使用材料	品名	仕様	数量
	バタフライ弁	10ALM-N-LUCE 65A	7 個
	バタフライ弁	10ALM-N-LUCE 80A	2 個
	スタッドボルト、ナット類	SUS304	44 組
	ポリスチレンフォームカバー	30 厚	1 式
	粘着テープ	電気絶縁用ポリ塩化ビニル粘着テープ A種(厚さ 0.2mm)	1 式
	ポリエチレンフィルム	包装用ポリエチレンフィルム規定 1 種(厚さ 0.05mm)	1 式
	ステンレス鋼板	0.2mm	1 式

(11) 屋外次亜塩素酸タンク廻り配管補修

名称	薬液タンク (CLT-1) SP-3000L 型(ダイワ(株)製)		
材質	ポリエチレン		
容量	3000L		
寸法	Φ1620×高 2100 重量:約 85kg		
架台	高 1500 (溶融亜鉛メッキ)		
基礎	400×400×高 500×4 本		
補修内容	屋外配管交換、屋外配管付属品交換、機械室配管交換、機械室配管付属品交換、配管紫外線保護塗装、タンク内次亜塩素酸抜取り及び復旧		
使用材料	品名	仕様	数量
	フランジ用ガスケット	50A×10k FKM	9 枚
	ダイヤフラムバルブ	50A×10k フランジ式 ボデー:U-PVC、ダイヤフラム:PTFE	3 個
	フレキシブルジョイント	SUS304 50A×300L フランジ式	1 個

		接液部:PTFE	
	直視式レベルゲージ	SP-3000L 型タンク用 ゲージバルブ 1 個含む	1 個
	薬品納入ホース用タケノコ管	塩ビ製 50A	1 個
	VP 管	50mm (継手・接合材等・支持金物含む) (施工長 8.0m)	1 式
	VP 管	16mm (継手・接合材等・支持金物含む) (施工長 1.1m)	1 式
	VP 管	13mm (継手・接合材等・支持金物含む) (施工長 0.45m)	1 式
	ボールバルブ	21 α 型 15mm ソケット (V2ALVUSJ015) (アサヒ)	3 個
	Oリングセット	ボールバルブ (21 型 15mm) 用 (FKM)	6 セット

(12) プール強制シャワー (女子側) 電磁弁交換及び配管改修

補修内容	電磁弁交換 (ボール弁交換を含む。)、配管交換、保温補修 (ポリチューブ + キャンバステープ)、既設品撤去		
使用材料	品名	仕様	数量
	SGP-HVA 管	25A (ねじ接合 (管端防食継手) (継手・接合材等・支持金物含む) (施工長 3.5m)	1 式
	電磁弁	ベン PS22-W 25A	1 個
	ボールバルブ	25A × 10k 管端コア付青銅ロングネック	1 個
	Y 型ストレーナ	25A × 10k ねじ込み 管端コア付青銅	1 個
	ポリチューブ		材工共
	キャンバステープ		材工共

(13) 一般受水槽定水位弁交換

補修内容	定水位弁交換、配管交換、仕切弁交換、保温交換		
使用材料	品名	仕様	数量
	定水位弁	FM3型-20A ねじ込み式 副弁含む (FMバルブ) 副弁(ボールタップ)を含む。	2組
	仕切弁	管端防食ねじ込み形 JV510k 20A 青銅 鉛フリー	1個
	SGP-VB管	20A (継手・接合材等・支持金物含む) (施工長 2m)	1式
	SGP-VB管	25A (継手・接合材等・支持金物含む) (施工長 4m)	1式
	保温材	20A (給水管、屋外露出配管用) (施工長 1m)	1式
	保温材	25A (給水管、屋外露出配管用) (施工長 1m)	1式

(14) キュービクル有圧換気扇用ウェザークカバー更新

補修内容	ウェザークカバー交換(電気主任技術者の立合いを必要とする。)		
使用材料	品名	仕様	数量
	ウェザークカバー	W-25TDB 排気形防火タイプ(三菱電機)	1個

(15) プール通路等床補修

施工箇所	男女ともに更衣室を出て、プール室に至る間の通路床部分		
床面積	男子側：13.7 m ² 、女子側：25.3 m ²		
現状	プラスチック製ジョイントスリコ敷		
補修内容	既存床パネル撤去・各所養生、既存塗床サンディング処理(浮き・剥がれか所中心にサンダー掛け)、床フラッター処理(15 m ²)、足洗場土間勾配調整(既存排水口のまま、ガホン・屋外用レバー2回打設)、床下地処理(8 m ²)、床シート敷設(耐水工法・継目熱風溶接工法)、床面端部シール処理		
使用材料	品名	仕様	数量

	複層ビニル床シート (FS)	NSシート 2.5× 1820mm	19m
	接着剤	USセメント 9kg 溶接 棒 50m入	1個
	接着剤	USセメント 3kg 溶接 棒 50m入	3個
	床端部シール材	NSシールII 2本入り	1個

(16) ピット内給水管漏水修繕

補修内容	配管交換		
使用材料	品名	仕様	数量
	HIVP管	65A(継手・接合材等・支持 金物含む)(施工長2m)	1式
	ストラブグリップ [®]	(Gタイプ)65A	1個

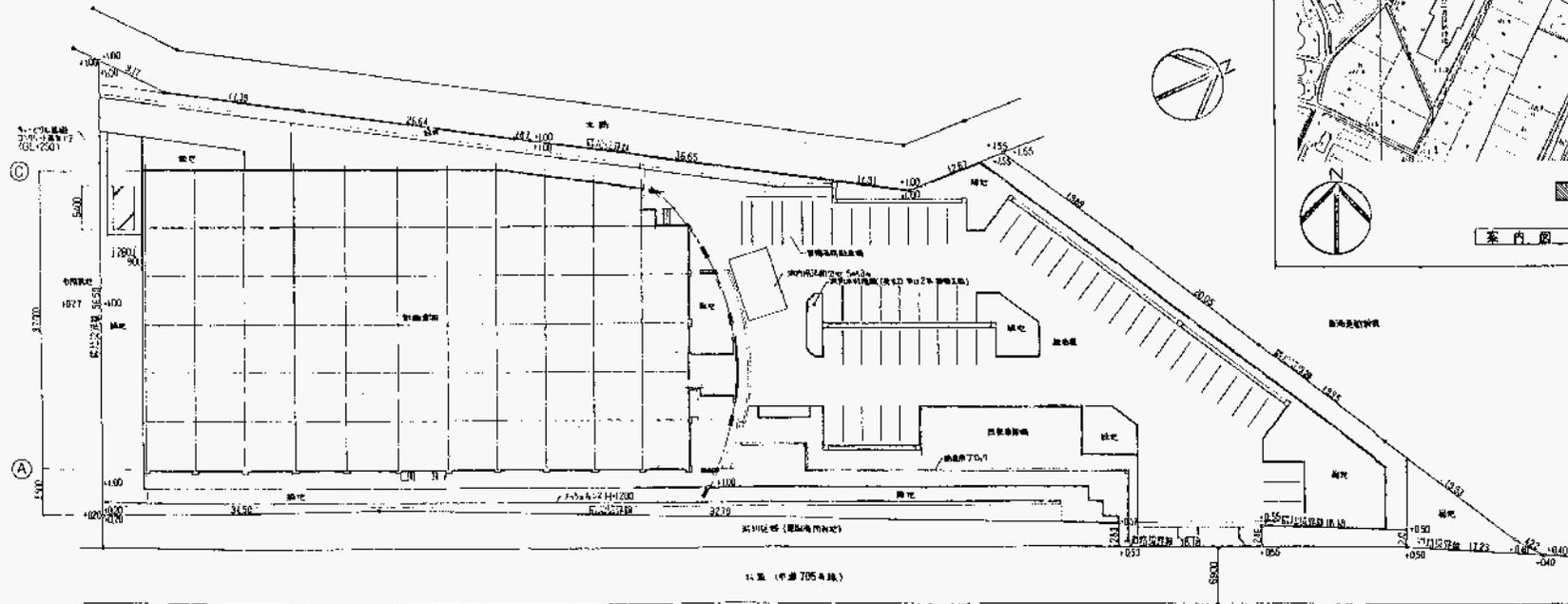
(17) 幼児プール循環配管漏水補修

補修内容	配管交換		
使用材料	品名	仕様	数量
	HIVP管	65A(施工長1m)	1式
	HIVP管	50A(施工長1m)	1式
	ストラブグリップ [®]	50A	2個
	ストラブグリップ [®]	65A	1個
	異径チーズ	65×50A HI継手	1個
	異径ソケット	65×50A HI継手	1個

(18) 発生材処分

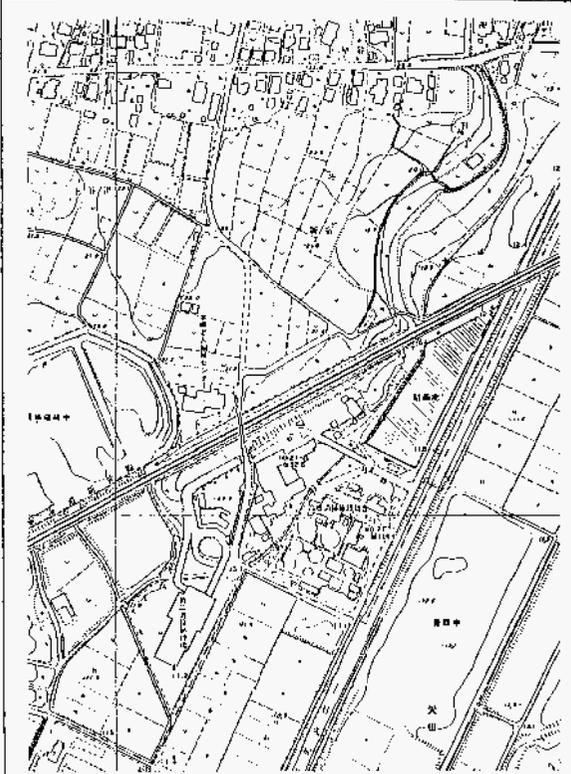
交換に伴い発生する発生材については適切に処分すること。

プール全体図



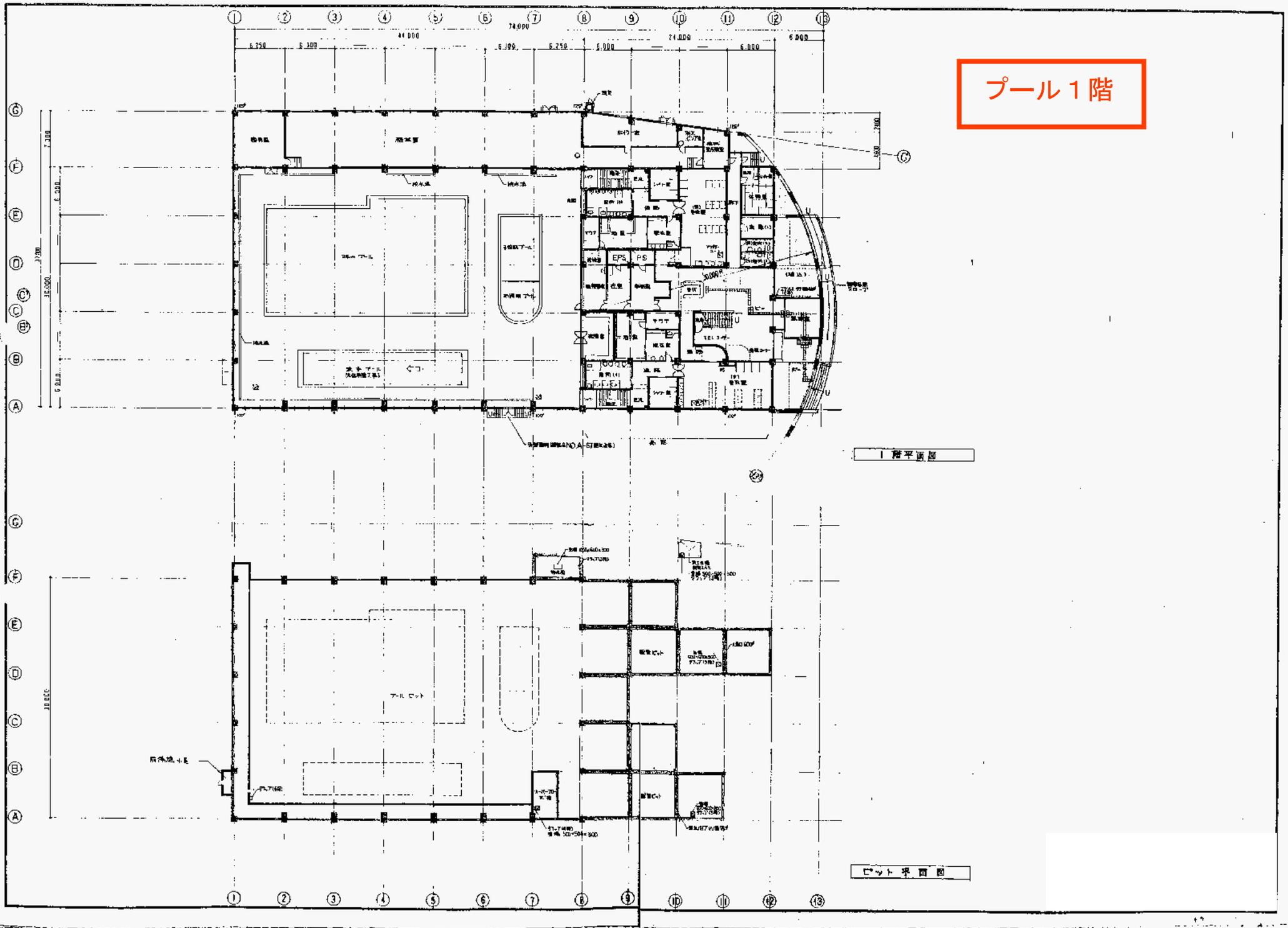
配置図 1/300

GL - 保付M +1.00m
 1 FL - GL +1.00m ± 0

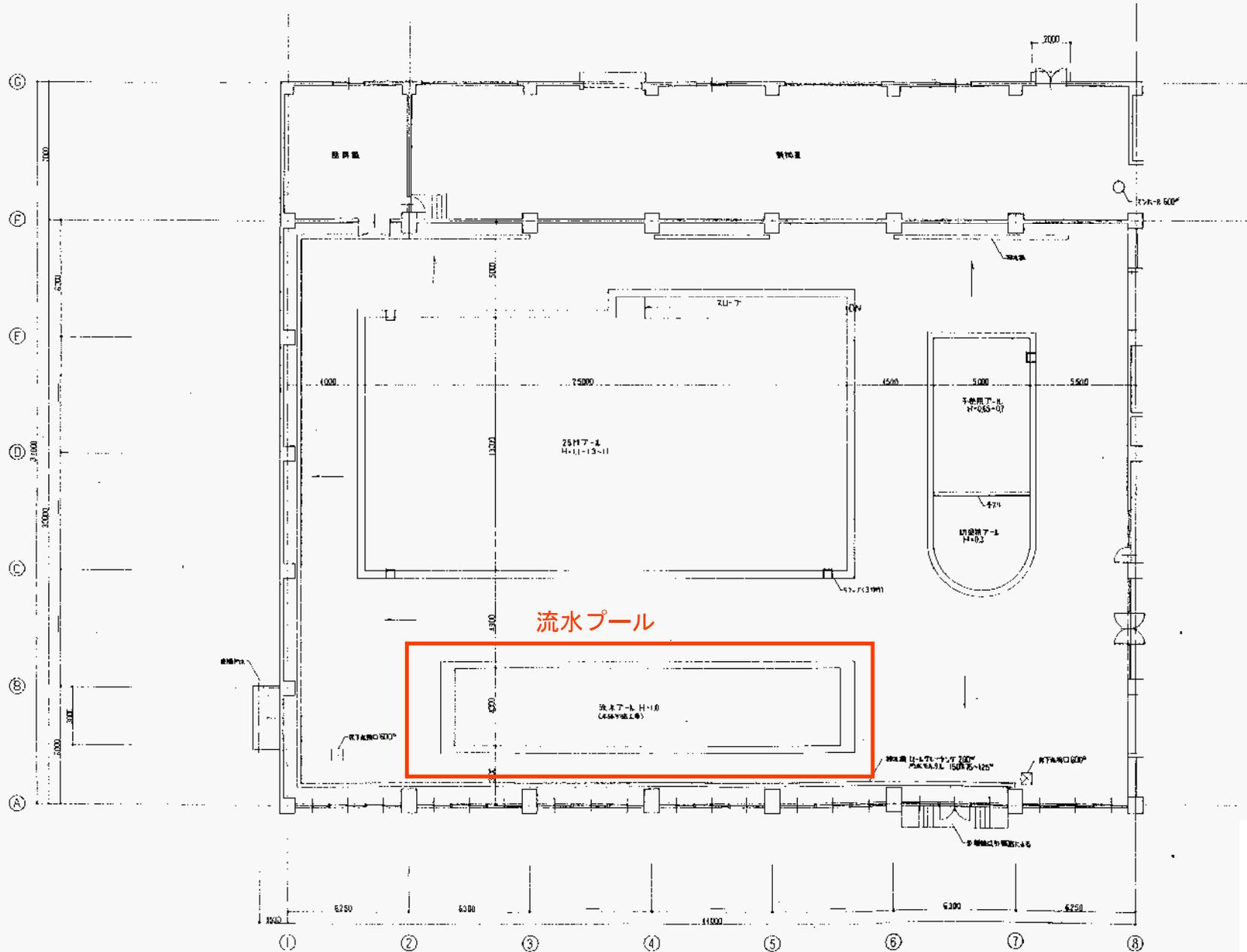


案内図 1/2500

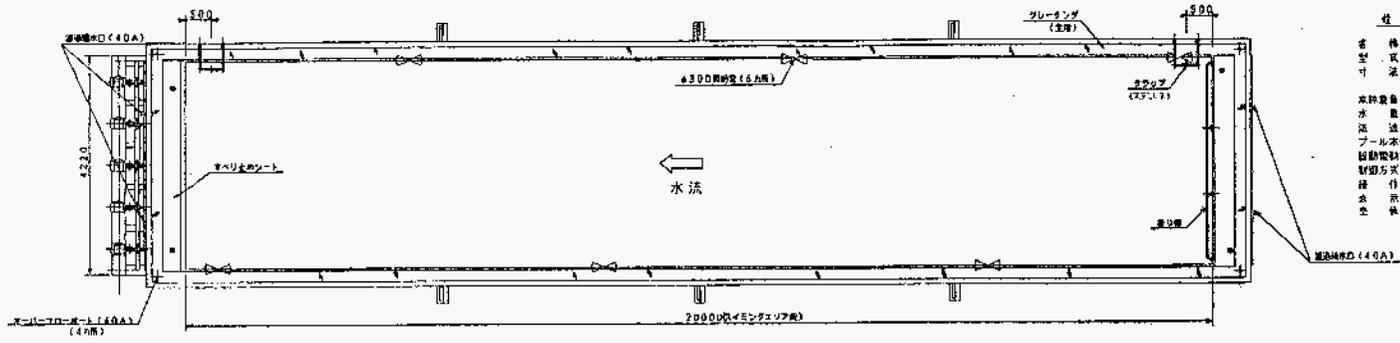
プール1階



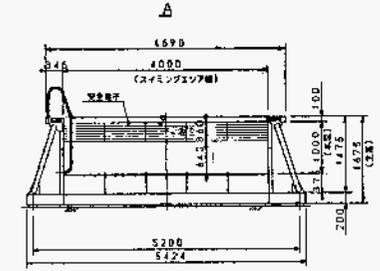
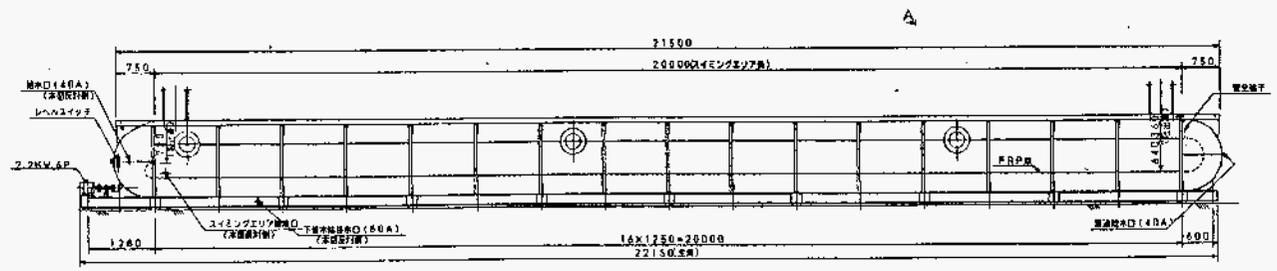
プール室俯瞰図



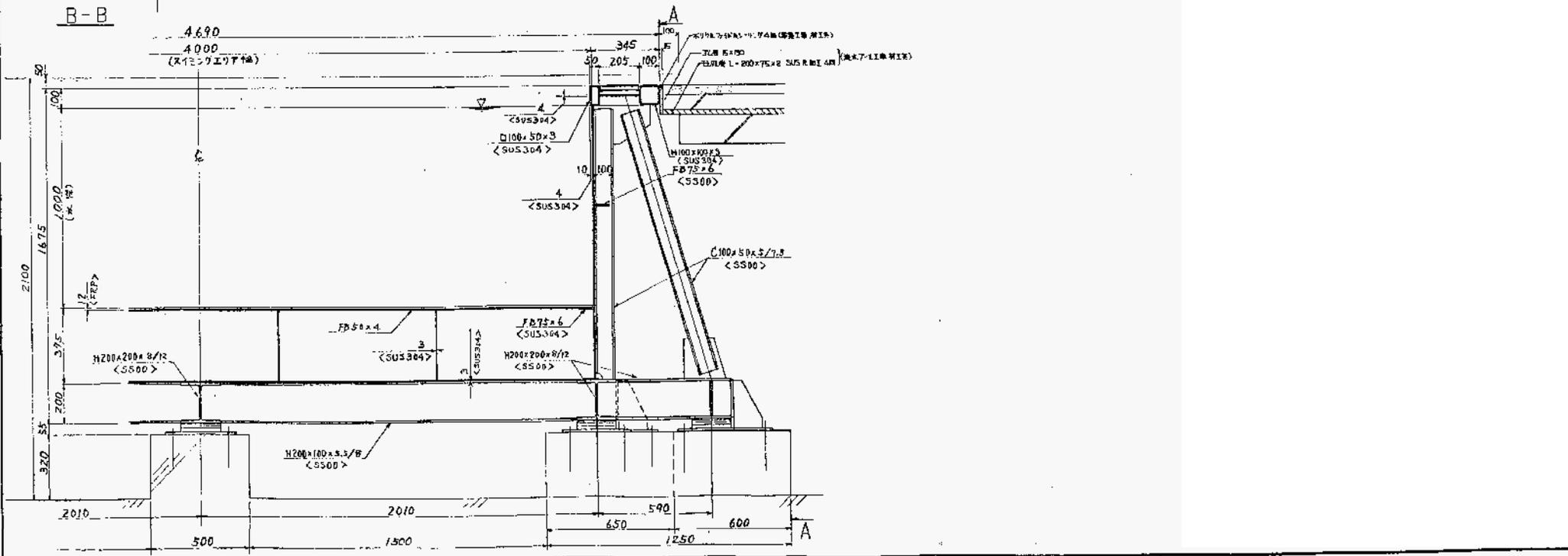
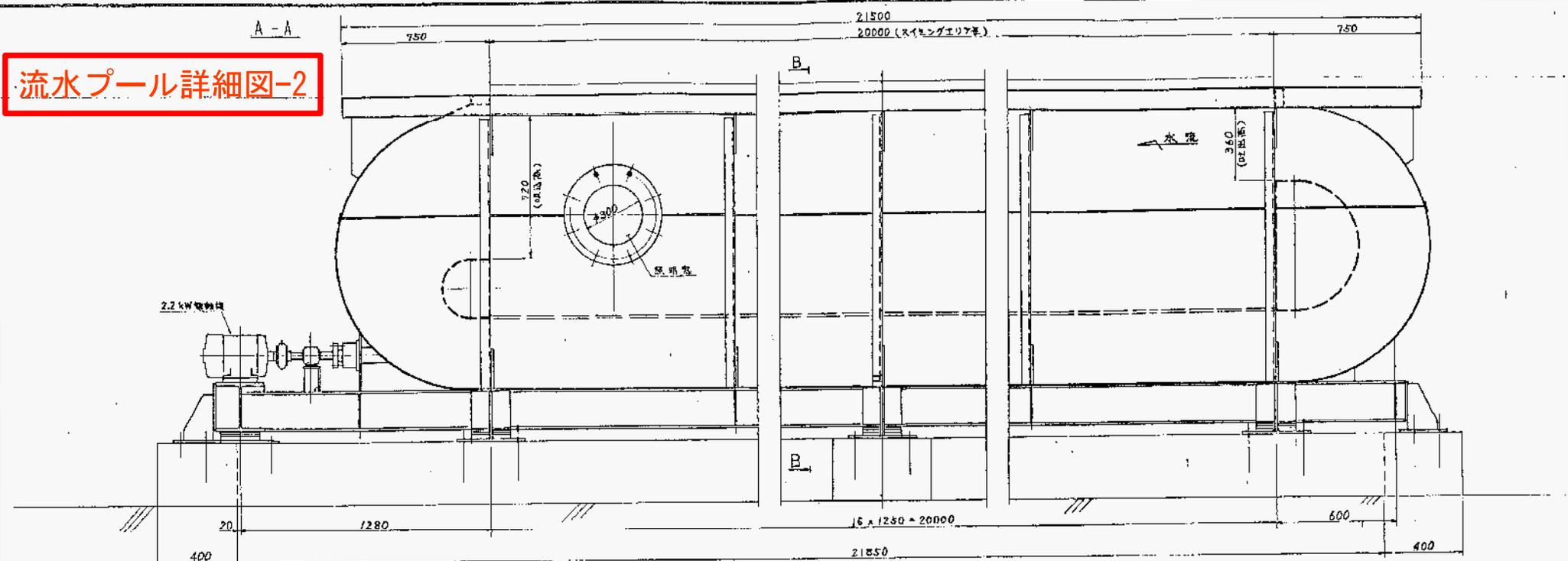
流水プール詳細図-1



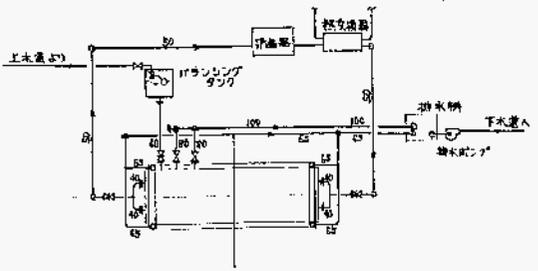
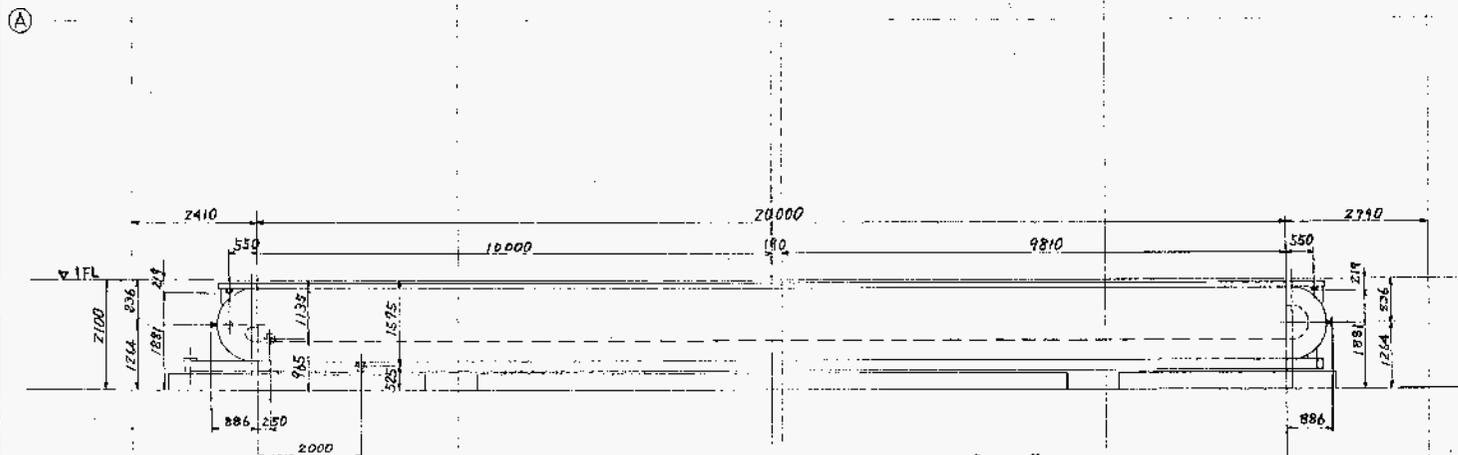
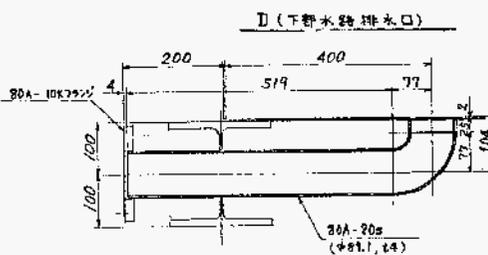
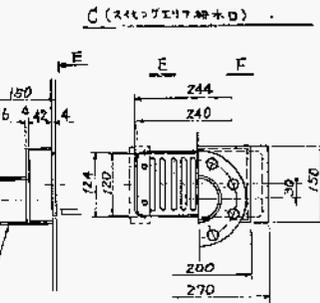
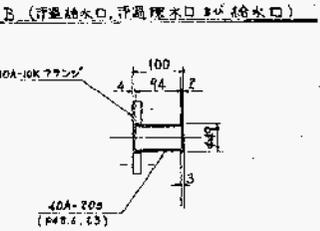
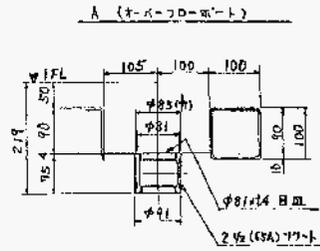
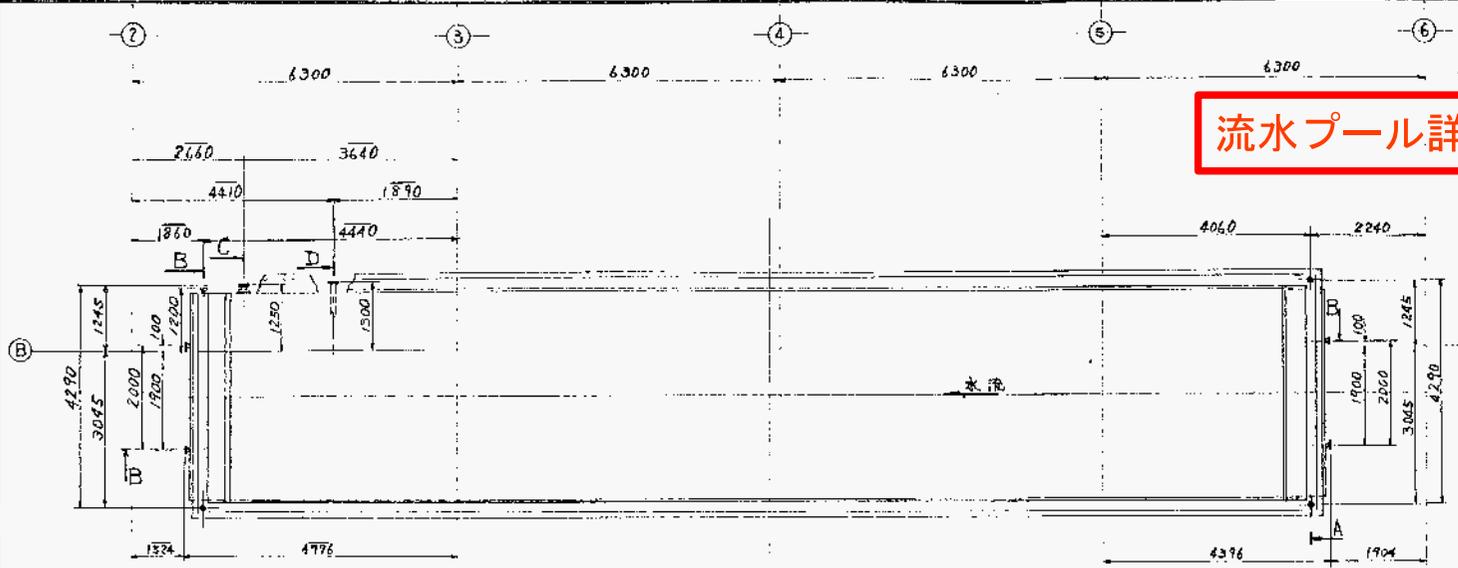
- 仕様**
- 名称: リバープール(RIVER POOL)
 - 型式: FPS-20040型
 - 寸法: 本体1長22.15m×幅5.42m×高さ1.68m
 - 水深: 500mm
 - 流量: 約3.0m³/h
 - 水質: 約25℃
 - 水量: 約1.141
 - 流速: 最大1.5m/s(吐出部手洗において)
 - プール本体材質: ステンレス鋼(SUS304)
 - 自動制御: 2.2kW, 6P×5台, AC200V, 50/60Hz
 - 制御方式: インバータによる周波数制御
 - 操作: 電源ON/OFF, 押しボタンによる温度調節
 - 表示: 操作盤上に温度をデジタル表示, 水質表示
 - 仕様: SUS304-9-A.L.P.材料採用(環境対応) LAL薬品対応
 - 2.2kWインバータ制御(省エネ) / SUS304-9-A.L.P.採用



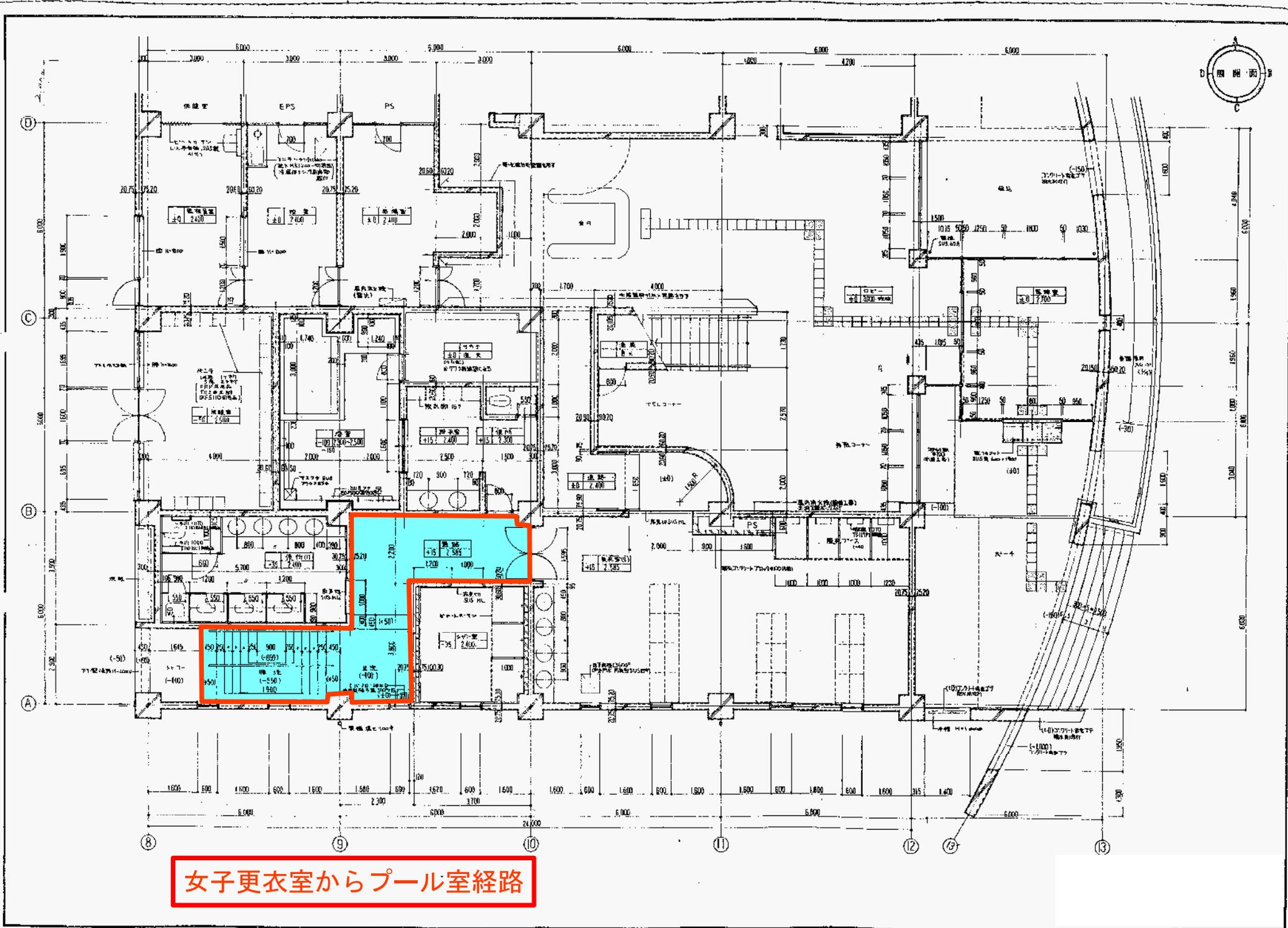
流水プール詳細図-2



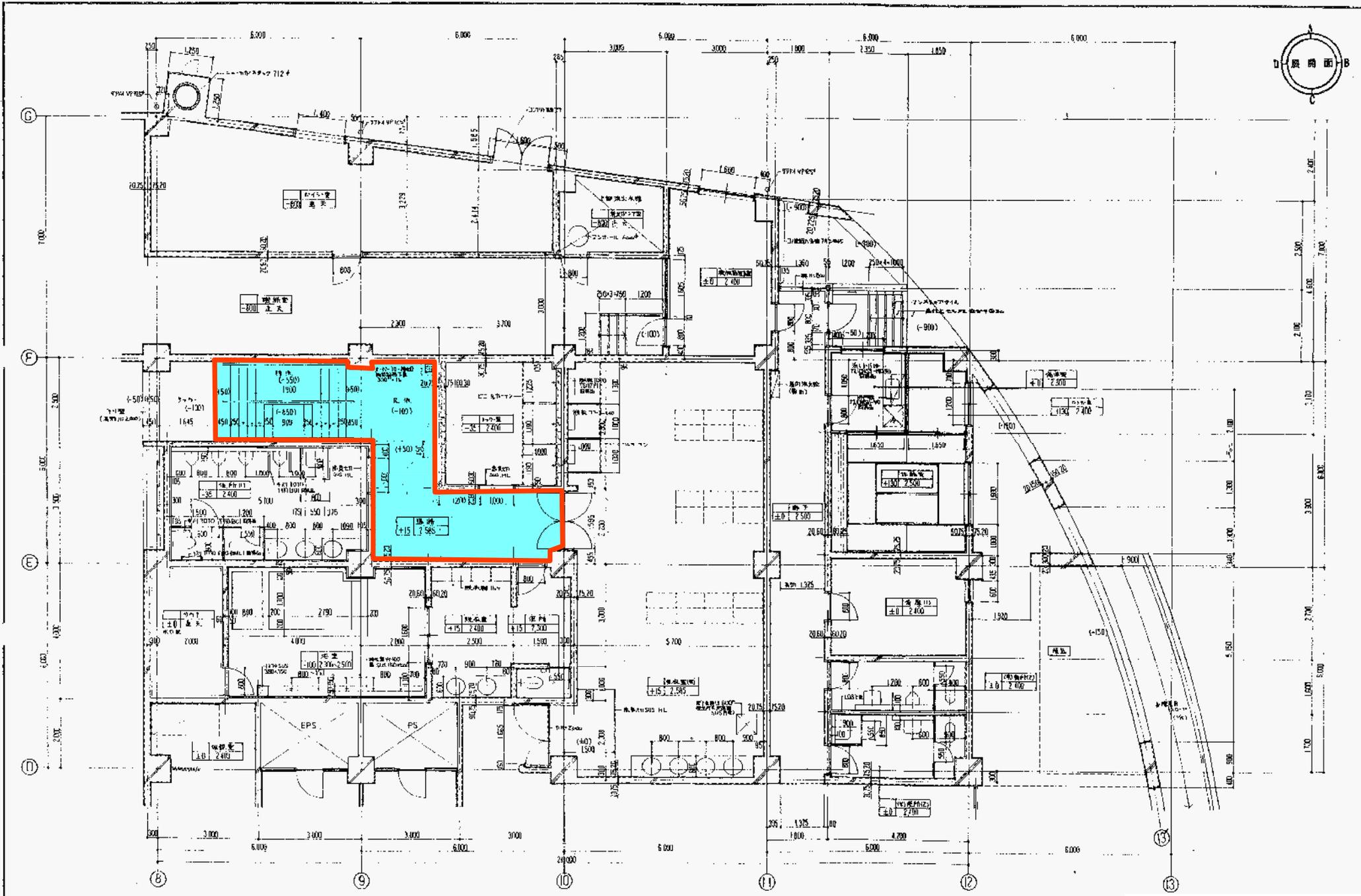
流水プール詳細図-3



配管系統図 (案)



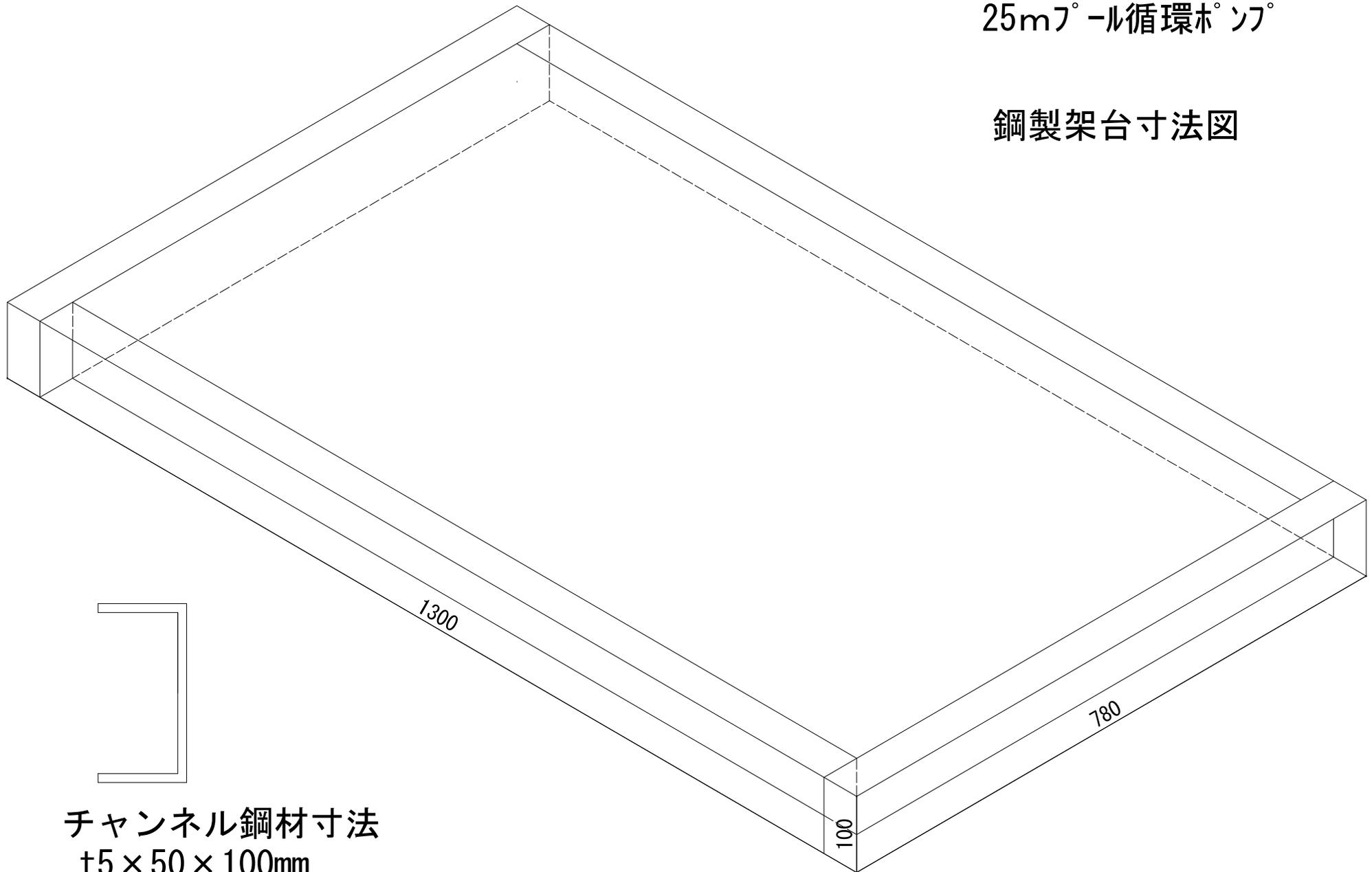
女子更衣室からプール室経路



男子更衣室からプール室経路

1 循環ポンプ整備
25mプール循環ポンプ

鋼製架台寸法図



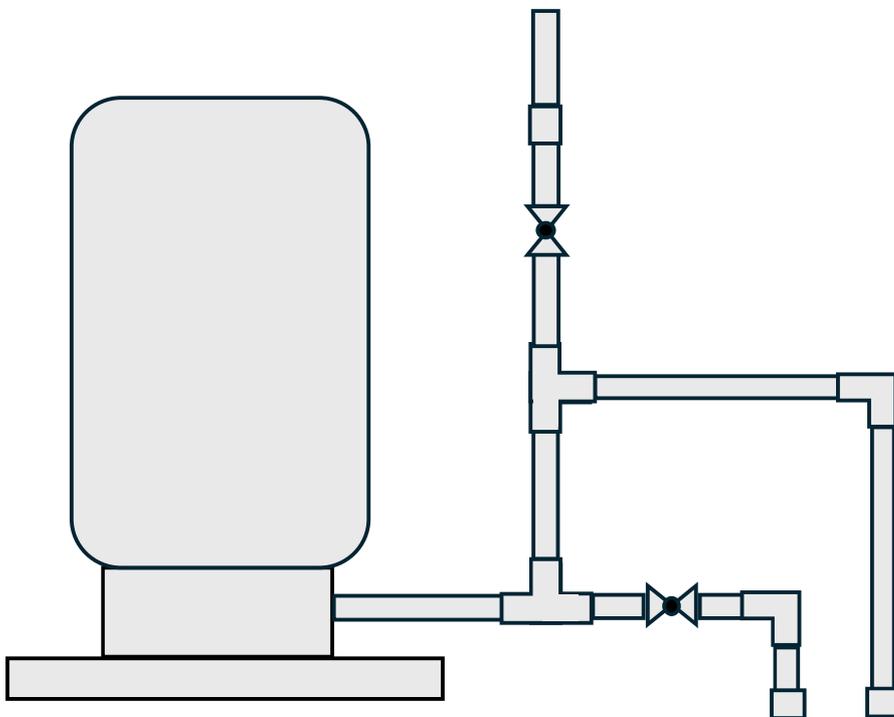
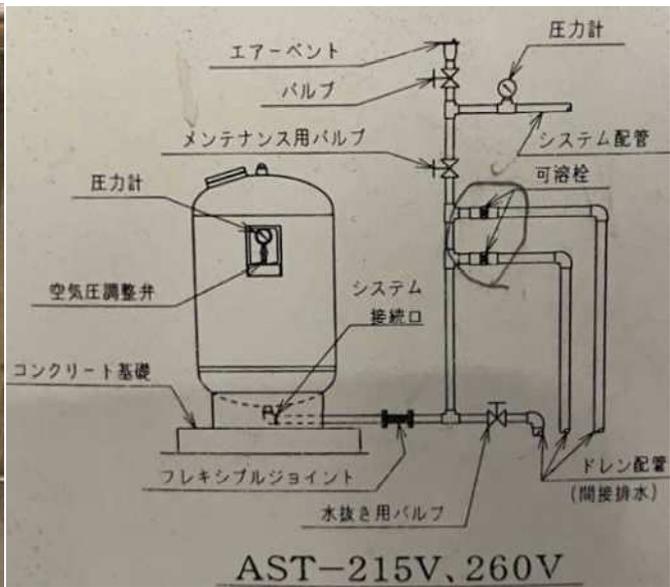
チャンネル鋼材寸法
t5 × 50 × 100mm

4 給湯用膨張タンクメンテナンス用バルブ取付け

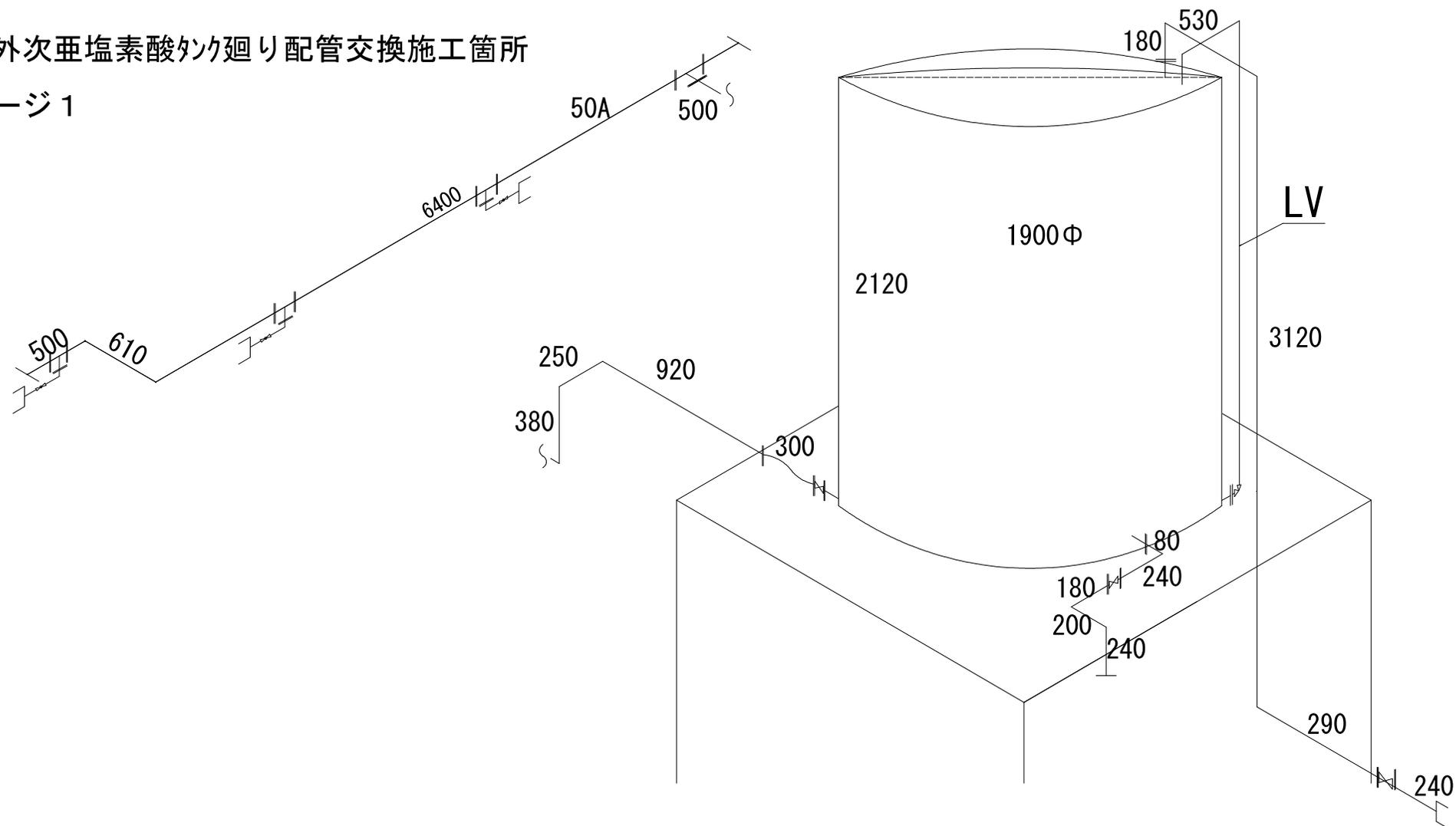
既設タンク写真



タンクに記載の配管設置例



メンテナンス用バルブ取付け 配管施工図



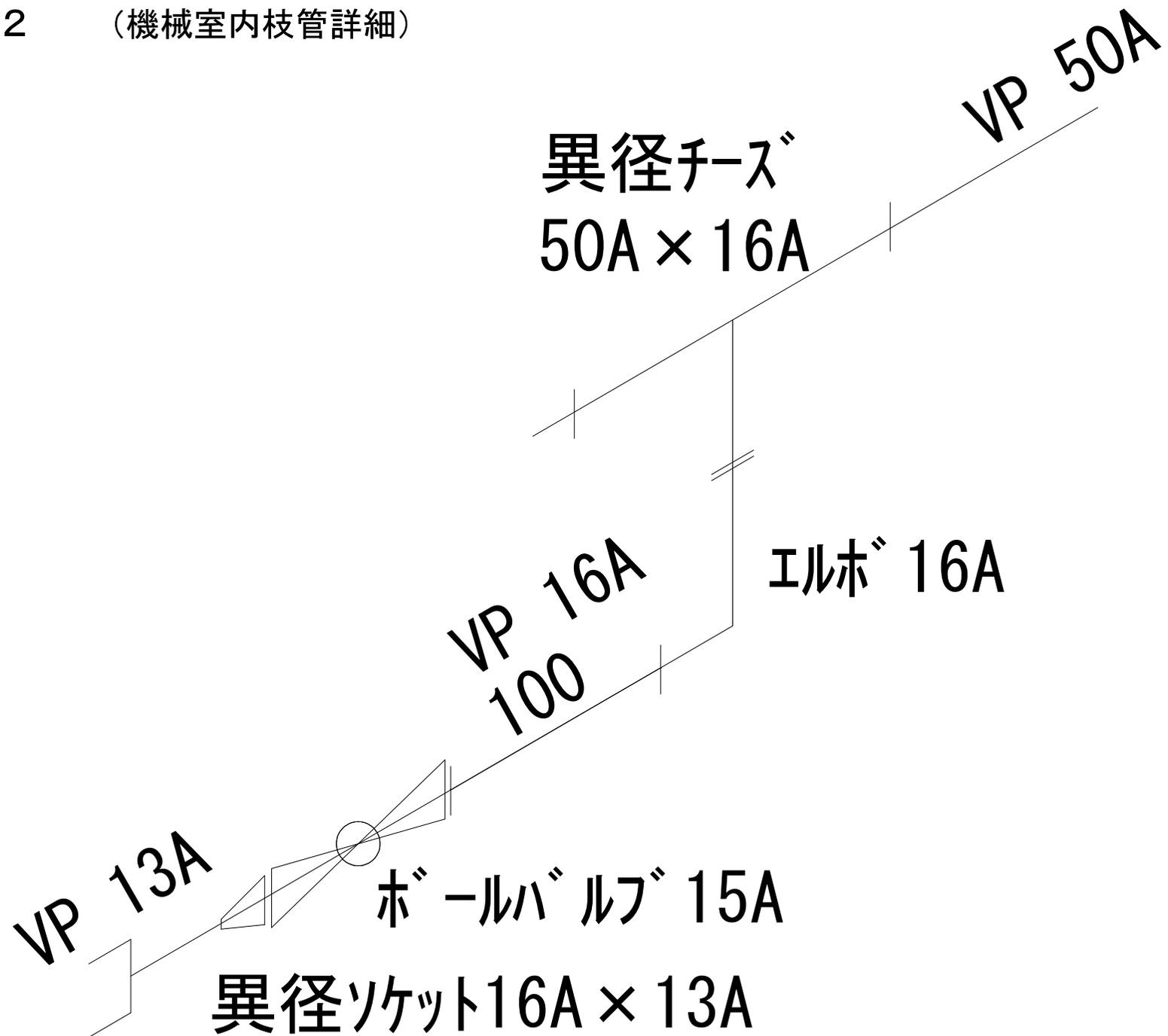
配管長：薬品受入管	$180+530+3120+290+240=4360$
(50A) ドレン管	$80+240+180+200+240=940$
供給管	$920+250+380+500+5080+610+500=8240$
機械室内配管	$5030+610+500=6140$
合計	19680mm

(16A) 機械室内配管 $(125+175+60) \times 3=1080\text{mm}$

(13A) 機械室内配管 $100 \times 3=300\text{mm}$

11 屋外次亜塩素酸水の廻り配管交換施工箇所

ページ 2 (機械室内枝管詳細)



プール強制シャワー（女子側）電磁弁交換
及び配管改修

270 360

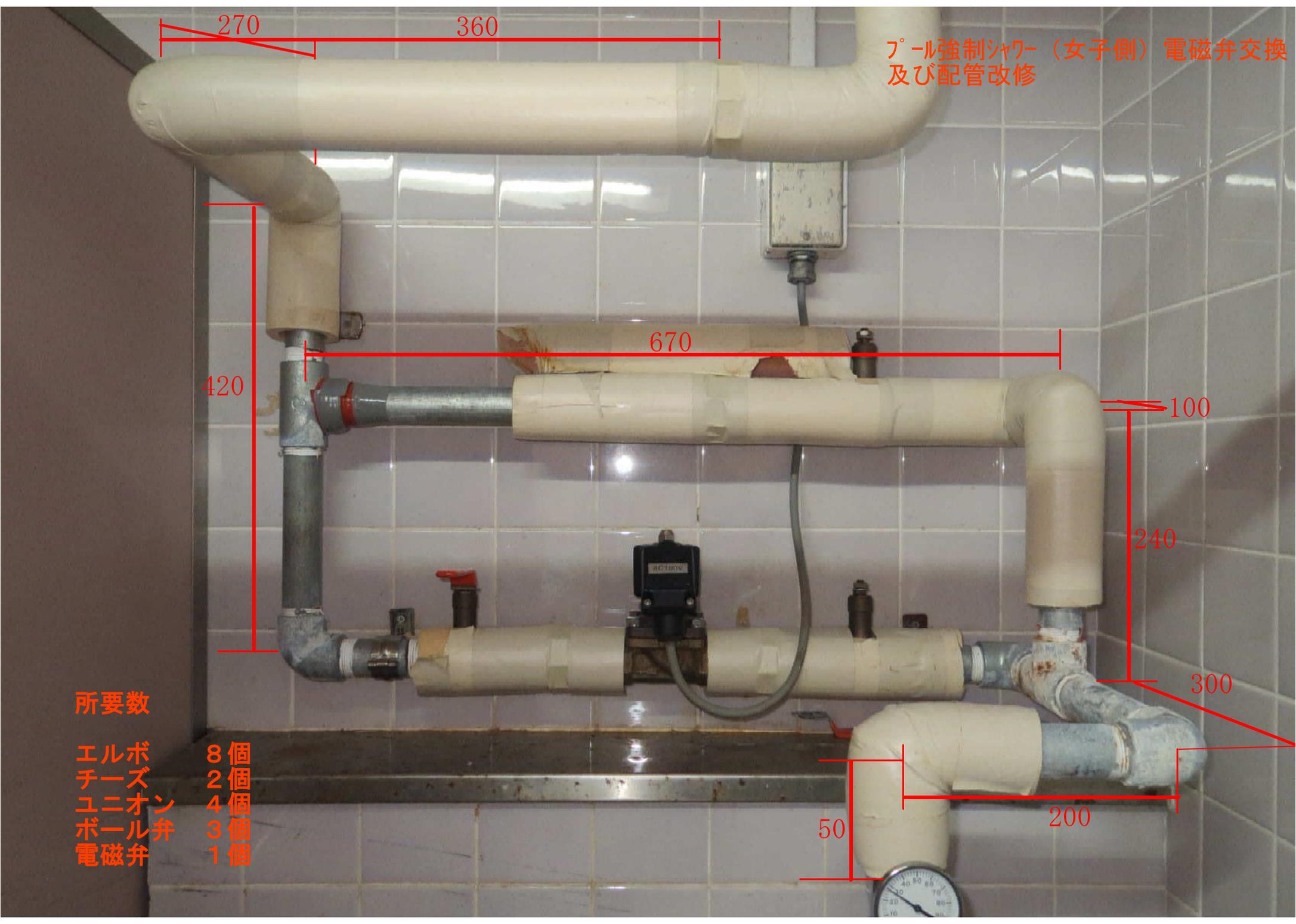
420 670 100

240 300

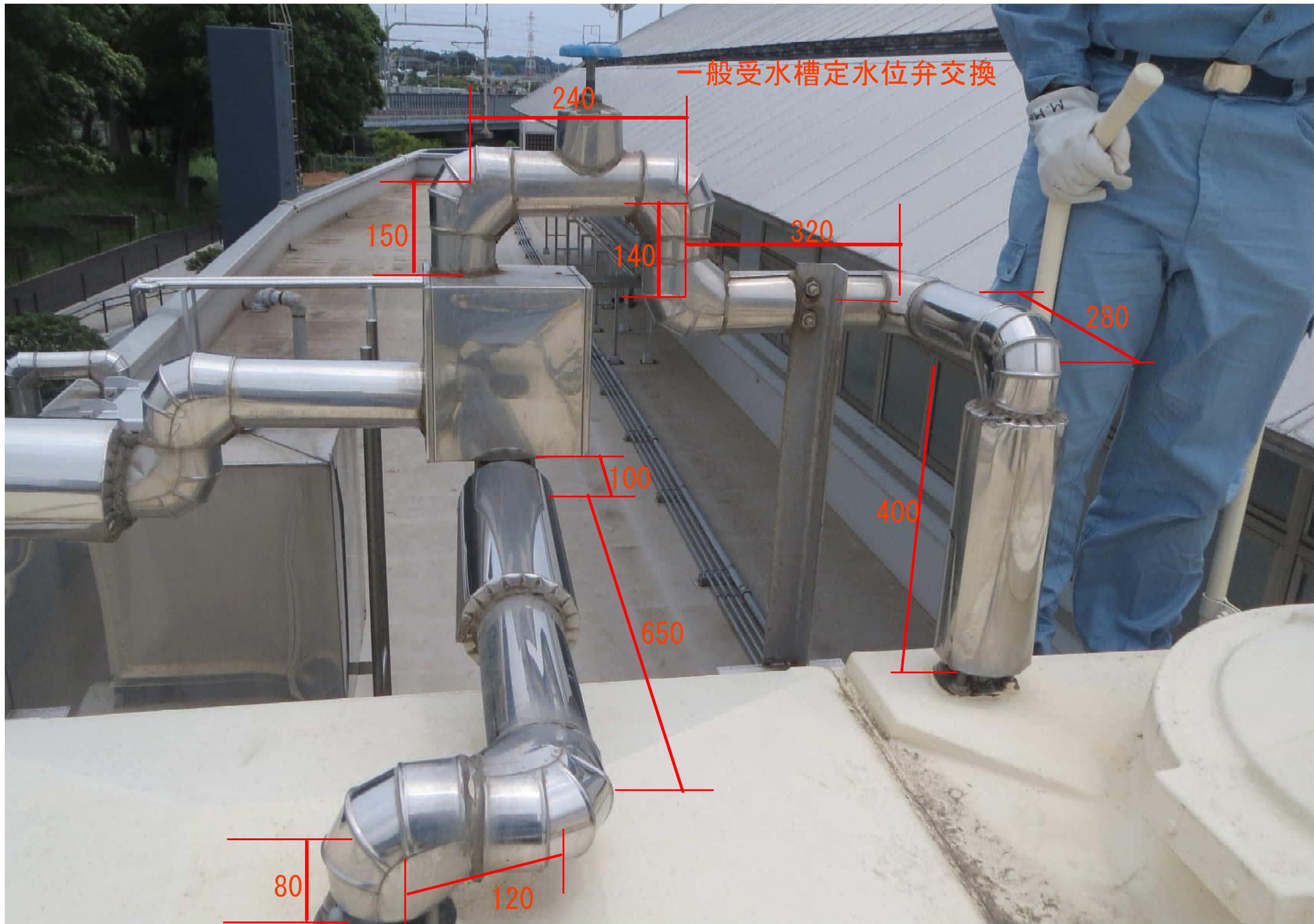
50 200

所要数

- | | |
|------|----|
| エルボ | 8個 |
| チーゾ | 2個 |
| ユニオン | 4個 |
| ボール弁 | 3個 |
| 電磁弁 | 1個 |



一般受水槽定水位弁交換



令和7年度							

補 修 費 設 計 書

件 名 令和7年度高座施設組合屋内温水プール設備補修

期 間 令和7年9月24日 ~ 令和8年2月27日

場 所 海老名市本郷20番地の1

合計金額 金 円也

(消費税相当額を含む)

項目	内容	単位	数量	単価	金額	備考
補修費		式	1			
消費税相当額		%	10			
合計金額						

令和7年度高座施設組合屋内温水プール設備補修
種目別内訳書

(単位:円)

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	循環ポンプ整備		式	1			
1-1	25mプール循環ポンプ		式	1			
1-2	流水プール循環ポンプ		式	1			
1-3	幼児プール循環ポンプ		式	1			
1-4	男女浴槽循環ポンプ		式	1			
1-5	余熱利用加熱ポンプ		式	1			
1-6	貯湯槽返湯循環ポンプ		式	1			
2	ホーバーク槽清掃		式	1			
3	一般給水用ポンプユニット補修		式	1			
4	給湯用膨張タンクメンテナンス用バルブ取付け		式	1			
5	余熱利用設備ドレン配管ストレーナ補修		式	1			
6	流水プール槽補修		式	1			
7	空調機(AC-7)点検・熱交換器更新		式	1			
8	浴室タイル補修		式	1			
9	トイレ大便器補修		式	1			
10	受水槽廻りバクテリア弁交換		式	1			
11	屋外次亜塩素酸タンク廻り配管補修		式	1			
12	プール強制シャワー(女子側)電磁弁交換及び配管改修		式	1			
13	一般受水槽定水位弁交換		式	1			

令和7年度高座施設組合屋内温水プール設備補修
種目別内訳書

(単位:円)

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1-1	25mプール循環ポンプ						
1-1-1	補修費		1	式			
1-1-2	材料費		1	式			
	合計						
1-2	流水プール循環ポンプ						
1-2-1	補修費		1	式			
1-2-2	材料費		1	式			
	合計						
1-3	幼児プール循環ポンプ						
1-3-1	補修費		1	式			
1-3-2	材料費		1	式			
	合計						
1-4	男女浴槽循環ポンプ						
1-4-1	補修費		1	式			

令和7年度高座施設組合屋内温水プール設備補修
種目別内訳書

(単位:円)

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	一般給水用ポンプユニット補修						
3-1	補修費		1	式			
3-2	材料費		1	式			
	合計						
4	給湯用膨張タンクメンテナンス用バルブ取付け						
4-1	補修費		1	式			
4-2	材料費		1	式			
	合計						
5	余熱利用設備ドレン配管ストレーナ補修						
5-1	補修費		1	式			
	合計						
6	流水プール槽補修						
6-1	補修費		1	式			
	合計						

令和7年度高座施設組合屋内温水プール設備補修
種目別内訳書

(単位:円)

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7	空調機(AC-7)点検・熱交換器更新						
7-1	点検費		1	式			
7-2	補修費		1	式			
7-3	材料費		1	式			
	合計						
8	浴室トイレ補修						
8-1	補修費		1	式			
	合計						
9	トイレ大便器補修						
9-1	補修費		1	式			
9-2	材料費		1	式			
	合計						
10	受水槽廻りパナライ弁交換						

令和7年度高座施設組合屋内温水プール設備補修
種目別内訳書

(単位:円)

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
14	キュービッカル有圧換気扇用ウェザークバー交換						
14-1	補修費		1	式			
14-2	材料費		1	式			
	合計						
15	プール通路等床補修						
15-1	補修費		1	式			
15-2	材料費		1	式			
	合計						
16	ヒット内給水管漏水補修						
16-1	補修費		1	式			
16-2	材料費		1	式			
	合計						
17	幼児プール循環配管漏水補修						
17-1	補修費		1	式			
17-2	材料費		1	式			
	合計						

令和7年度高座施設組合屋内温水プール設備補修
 中科目別内訳書

1-1-1

循環ポンプ整備

25mプール循環ポンプ

補修費

(1式当り)

	名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
1	ポンプ交換		式	1			1-1-1-1参照
2	架台交換		式	1			1-1-1-2参照
3	継手交換		式	1			1-1-1-3参照
	合計						

令和7年度高座施設組合屋内温水プール設備補修
細目別内訳書

1-1-1-1

循環ポンプ整備

25mプール循環ポンプ

ポンプ交換費

(1式当たり)

	名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
1	撤去費		台	1			1-1-1-2参照
2	搬出費		t	0.259			A-2参照
3	搬入費		t	0.259			A-1参照
4	据付費		台	1			1-1-1-1参照
	合計						

令和7年度高座施設組合屋内温水プール設備補修
細目別内訳書

1-1-1-1-1

循環ポンプ整備

25mプール循環ポンプ

ポンプ据付費

(1式当り)

	名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
1	機械設備据付工		人				
2	普通作業員		人				
3	その他(下請経費相当分)		式	1			
	合計						

令和7年度高座施設組合屋内温水プール設備補修
 細目別内訳書

1-1-1-1-2

循環ポンプ整備

25mプール循環ポンプ

ポンプ撤去費（再使用しない）

（1式当り）

	名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
1	機械設備据付工		人				
2	普通作業員		人				
3	その他(下請経費相当分)		式	1			
	合計						

令和7年度高座施設組合屋内温水プール設備補修
 中科目別内訳書

1-1-1-2

循環ポンプ整備

25mプール循環ポンプ

架台交換費

(1式当り)

	名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
1	撤去費		台	1			1-1-1-2-2参照
2	搬出費		t	0.202			
3	搬入費		t	0.202			
4	据付費		台	1			1-1-1-2-1参照
	合計						

令和7年度高座施設組合屋内温水プール設備補修
細目別内訳書

1-1-1-2-1

循環ポンプ整備

25mプール循環ポンプ

架台据付費

(1式当り)

名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
1 設備機械工		人				
2 その他(下請経費相当分)		式	1			
合計						

令和7年度高座施設組合屋内温水プール設備補修
細目別内訳書

1-1-1-2-2

循環ポンプ整備

25mプール循環ポンプ

架台撤去費（再使用しない）

（1式当り）

	名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
1	設備機械工		人				
2	その他(下請経費相当分)		式	1			
	合計						

令和7年度高座施設組合屋内温水プール設備補修
細目別内訳書

1-1-1-3-1

循環ポンプ整備

25mプール循環ポンプ

継手据付費

(1式当たり)

	名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
	防振継手100A						
1	配管工		人				
2	その他(下請経費相当分)		式	1			
	計						
	防振継手80A						
3	配管工		人				
4	その他(下請経費相当分)		式	1			
	計						
	合計						

令和7年度高座施設組合屋内温水プール設備補修
細目別内訳書

1-1-1-3-2

循環ポンプ整備

25mプール循環ポンプ

継手撤去費（再使用しない）

（1式当たり）

	名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
	防振継手100A						
1	配管工		人				
2	その他(下請経費相当分)		式	1			
	計						
	防振継手80A						
3	配管工		人				
4	その他(下請経費相当分)		式	1			
	計						
	合計						

令和7年度高座施設組合屋内温水プール設備補修
 中科目別内訳書

1-1-2
 循環ポンプ整備

25mプール循環ポンプ

材料費

(1式当り)

	名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
1	ポンプ	100×80FS4K511F (荏原) (羽根車材質：SCS13)	台	1			
2	圧力計	100φ、0.6MPa	個	1			
3	連成計	100φ、0.4MPa	個	1			
4	防振架台	DB-6 (荏原)	式	1			
5	ゴム防振継手	100A×10k	個	1			
6	ゴム防振継手	80A×10k	個	1			
7	鋼製架台	製作品 溝形鋼t5×50×100 780×1300×100 防錆塗装	台	1			
8	消耗品・雑材料・機工具損料		式	1			
	合計						

令和7年度高座施設組合屋内温水プール設備補修
 中科目別内訳書

1-2-1

循環ポンプ 補修

流水プール循環ポンプ

補修費

(1式当り)

	名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
1	分解整備(部品交換及び清掃)	設備機械工	人				
2		特殊作業員	人				
3	その他(下請経費相当分)		式	1			
	合計						

令和7年度高座施設組合屋内温水プール設備補修
 中科目別内訳書

1-2-2

循環ポンプ補修

流水プール循環ポンプ

材料費

(1式当り)

	名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
1	玉軸受	6307VV	個	2			
2	玉軸受	6308ZZC3	個	1			
3	玉軸受	6208ZZC3	個	1			
4	Oリング		個	1			
5	メカニカルシール		個	1			
6	カップリングボルト		個	6			
7	水切リング		個	1			
8	消耗品・雑材料・機工具損料		式	1			
	合計						

令和7年度高座施設組合屋内温水プール設備補修
 中科目別内訳書

1-3-1

循環ポンプ補修

幼児プール循環ポンプ

補修費

(1式当り)

	名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
1	分解整備(部品交換及び清掃)	設備機械工	人				
2		特殊作業員	人				
3	その他(下請経費相当分)		式	1			
	合計						

令和7年度高座施設組合屋内温水プール設備補修
 中科目別内訳書

1-3-2

循環ポンプ補修

幼児プール循環ポンプ

材料費

(1式当り)

	名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
1	玉軸受	6305VV	個	2			
2	玉軸受	6206ZZC3	個	1			
3	玉軸受	6205ZZC3	個	1			
4	〇リング		個	1			
5	メカニカルシール		個	1			
6	カップリングホルト		個	4			
7	水切リング		個	1			
8	消耗品・雑材料・機工具損料		式	1			
	合計						

令和7年度高座施設組合屋内温水プール設備補修
 中科目別内訳書

1-4-1

循環ポンプ 補修

男女浴槽循環ポンプ

補修費

(1式当り)

	名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
1	分解整備(部品交換及び清掃)	設備機械工	人				
2		特殊作業員	人				
3	その他(下請経費相当分)		式	1			
	合計						

令和7年度高座施設組合屋内温水プール設備補修
 中科目別内訳書

1-4-2

循環ポンプ 補修

男女浴槽循環ポンプ

材料費

(1式当り)

名称		規格	単位	数量	単価	金額	適用
1	玉軸受	6204VV	個	4			
2	玉軸受	6204ZZC3	個	4			
3	Oリング		個	2			
4	メカニカルシール		個	2			
5	カップリングボルト		個	6			
6	水切リング		個	2			
7	消耗品・雑材料・機工具損料		式	1			
	合計						

令和7年度高座施設組合屋内温水プール設備補修
 中科目別内訳書

1-5-1

循環ポンプ補修

余熱利用加熱ポンプ

補修費

(1式当り)

	名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
1	分解整備(部品交換及び清掃)	設備機械工	人				
2		特殊作業員	人				
3	その他(下請経費相当分)		式	1			
	合計						

令和7年度高座施設組合屋内温水プール設備補修
 中科目別内訳書

1-5-2

循環ポンプ補修

余熱利用加熱ポンプ

材料費

(1式当り)

	名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
1	玉軸受	6307VV	個	2			
2	玉軸受	6308ZZC3	個	1			
3	玉軸受	6208ZZC3	個	1			
4	Oリング		個	1			
5	グラントパッキン		個	4			
6	カップリングホルト		個	6			
7	水切リング		個	1			
8	消耗品・雑材料・機工具損料		式	1			
	合計						

令和7年度高座施設組合屋内温水プール設備補修
中科目別内訳書

1-6-1

循環ポンプ補修

貯湯槽返湯循環ポンプ

補修費

(1式当り)

	名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
1	分解整備(部品交換及び清掃)	設備機械工	人				
2		特殊作業員	人				
3	その他(下請経費相当分)		式	1			
	合計						

令和7年度高座施設組合屋内温水プール設備補修
 中科目別内訳書

1-6-2

循環ポンプ補修

貯湯槽返湯循環ポンプ

材料費

(1式当り)

	名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
1	玉軸受	6204DDW	個	1			
2	玉軸受	6203VV	個	1			
3	Oリング		個	1			
4	メカニカルシール		式	1			
5	消耗品・雑材料・機工具損料		式	1			
	合計						

令和7年度高座施設組合屋内温水プール設備補修
 中科目別内訳書

3-1

一般給水用ポンプユニット補修

補修費

(1式当り)

	名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
1	圧力タンク交換		個	1			3-1-1参照
2	内部部品交換		台	2			3-1-2参照
	合計						

令和7年度高座施設組合屋内温水プール設備補修
細目別内訳書

3-1-1

一般給水用ポンプユニット補修

圧力タンク交換費

(1式当り)

	名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
1	撤去		個	1			3-1-1-2参照
2	据付		個	1			3-1-1-1参照
	合計						

令和7年度高座施設組合屋内温水プール設備補修
細目別内訳書

3-1-1-1

一般給水用ポンプユニット補修

圧力タンク据付費

(1個当り)

	名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
1	機械設備据付工		人				
2	普通作業員		人				
3	その他(下請経費相当分)		式	1			
	合計						

令和7年度高座施設組合屋内温水プール設備補修
細目別内訳書

3-1-2

一般給水用ポンプユニット補修

内部部品交換費

(1台当り)

	名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
1	分解整備(部品交換及び清掃)	設備機械工	人				
2		特殊作業員	人				
3	その他(下請経費相当分)		式	1			
	合計						

令和7年度高座施設組合屋内温水プール設備補修
 中科目別内訳書

3-2

一般給水用ポンプユニット補修

材料費

(1式当り)

	名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
1	圧力タンク	BT-10 フランジ付 (荏原)	個	1			
2	ゲートバルブA組立完	23/33用	個	4			
3	ゲートバルブB組立完	23/33用	個	2			
4	メカニカルシール	EA560M-15	個	2			
5	Oリング	3.1×150	個	2			
6	シールリング	75×6.3	個	2			
7	Oリング	G-125 3.1×125	個	6			
8	Oリング	G-35 3.1×35	個	1			
9	消耗品・雑材料・機工具損料		式	1			
	合計						

令和7年度高座施設組合屋内温水プール設備補修
 中科目別内訳書

4-1

給湯用膨張タンクメンテナンス用バルブ取付け

補修費

(1式当り)

	名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
1	メンテナンス用配管・バルブ取付	配管工	人				
2	水抜きバルブ取付	配管工	人				
3	配管保温	保温工	人				
4	その他(下請経費相当分)		式	1			
	合計						

令和7年度高座施設組合屋内温水プール設備補修
 中科目別内訳書

4-2

給湯用膨張タンクメンテナンス用バルブ取付け

材料費

(1式当り)

	名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
1	配管材	SUS304 TP32A	m	4			
2	ゲート弁	SUS304 32A	個	2			
3	チース	SCS13 32A	個	2			
4	エルボ	SCS13 32A	個	2			
5	ソケット	SCS13 32A	個	1			
6	キャップ	SCS13 32A	個	2			
7	消耗品・雑材料・機工具損料		式	1			
	合計						

令和7年度高座施設組合屋内温水プール設備補修
 中科目別内訳書

5-1

余熱利用設備ドレン配管ストレーナ補修

ストレーナ交換費

(1式当り)

	名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
1	ストレーナ据付		個	1			
2	ストレーナ撤去		個	1			
	合計						

令和7年度高座施設組合屋内温水プール設備補修
 中科目別内訳書

6-1

流水プール槽補修

補修費

(1式当り)

	名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
1	搬入経路・塗装作業範囲養生	材工共	式	1			
2	既存タイル撤去・搬出		式	1			
3	床面シブ穴等補修	突起等除去 材工共	式	1			
4	既存塗膜除去	ケレン、洗浄、脱脂処理 材工共	m ²	100			
5	プール床面・吸排口塗装及びノンスリップ加工	材工共	式	1			6-1-1参照
6	コースライン・水深表示	材工共	式	1			
7	塗装後洗浄・清掃	材工共	式	1			
8	資機材搬入出及び損料費		式	1			
9	消耗品・雑材料・機工具損料		式	1			
	合計						

令和7年度高座施設組合屋内温水プール設備補修
 中科目別内訳書

7-2

空調機(AC-7)点検・熱交換器更新

補修費

(1式当り)

	名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
1	室内機部品交換		式	1			7-2-1参照
2	室外機冷媒作業		式	1			7-2-2参照
	合計						

令和7年度高座施設組合屋内温水プール設備補修
 中科目別内訳書

7-3

空調機(AC-7)点検・熱交換器更新

材料費

(1式当り)

	名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
1	クロスフィン熱交換器	2317331	個	1			
2	指示銘板	2322249	個	1			
3	熱交仕切材組立品	071056J	個	2			
4	熱交取付板(前)組立品	071048J	個	1			
5	熱交取付板(前)組立品	071049J	個	1			
6	熱交取付板(後)組立品	071047J	個	2			
7	パッキン(熱交高温用)	1985104	個	1			
8	パッキン(熱交・吸入管用)	063150J	個	1			
9	冷媒	R410A	kg	5			
10	消耗品・雑材料・機工具損料		式	1			
	合計						

令和7年度高座施設組合屋内温水プール設備補修
 中科目別内訳書

8-1

浴室タイル補修

補修費

(1式当り)

	名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
1	既存床タイル撤去		m ²	36			
2	既存壁タイル撤去		m ²	15			
3	床タイル張付		m ²	36			
4	壁タイル張付		m ²	15			
5	養生、清掃		m ²	60			
	合計						

令和7年度高座施設組合屋内温水プール設備補修
細目別内訳書

9-1-1

トイレ大便器補修

便器交換費

(1式当り)

	名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
1	既設便器撤去		組	3			
2	大便器据付	普通便座付	組	3			
3	便器内部管調整	リモナル便器内部管	組	3			
4	フゝス内養生	粉塵飛散防止	箇所	3			
5	墨出		箇所	3			
6	フゝス対策	レベル3 想定	箇所	3			
7	設置床加工		箇所	3			
8	給水管位置変更		箇所	3			
	合計						

令和7年度高座施設組合屋内温水プール設備補修
細目別内訳書

9-1-2

トイレ大便器補修

床シート補修

(1式当り)

	名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
1	床下地処理	アースシール処理 材工共	箇所	3			
2	床長尺塩ビシート張替え	耐水工法、継目熱風溶接工法 材工共	箇所	3			
	合計						

令和7年度高座施設組合屋内温水プール設備補修
細目別内訳書

9-1-3

トイレ大便器補修

トイレブース補修

(1式当り)

	名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
1	ブース撤去		箇所	3			
2	ブース設置	材工共 TB-GPR	箇所	3			
3	資機材搬入出		式	1			
	合計						

令和7年度高座施設組合屋内温水プール設備補修
細目別内訳書

10-1-1

受水槽廻りハタフライ弁交換

弁交換費

(1式当り)

	名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
	弁取付						
1	ハタフライ弁	65A	個	7			
2	ハタフライ弁	80A	個	2			
	小計						
	弁撤去						
3	ハタフライ弁	65A	個	7			
4	ハタフライ弁	80A	個	2			
	小計						
	合計						

令和7年度高座施設組合屋内温水プール設備補修
細目別内訳書

10-1-2

受水槽廻りハタフライ弁交換

保温交換費

(1式当り)

	名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
	保温取付						
1	ハタフライ弁	65A	個	7			
2	ハタフライ弁	80A	個	2			
	小計						
	保温撤去						
3	ハタフライ弁	65A	個	7			
4	ハタフライ弁	80A	個	2			
	小計						
	合計						

令和7年度高座施設組合屋内温水プール設備補修
 中科目別内訳書

10-2

受水槽廻りバタフライ弁交換

材料費

(1式当り)

	名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
1	バタフライ弁	10ALM-N-LUCE 65A	個	7			
2	バタフライ弁	10ALM-N-LUCE 80A	個	2			
3	スタッドボルト、ナット類	SUS304	組	44			
4	消耗品・雑材料・機工具損料		式	1			
	合計						

令和7年度高座施設組合屋内温水プール設備補修
 中科目別内訳書

11-1-1-2

屋外次亜塩素酸タンク廻り配管補修

屋外配管附属品交換費

(1式当り)

	名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
	配管附則品取付	(取付手間のみ)					
1	ダイヤフラムバルブ	50A	個	3			
2	フレキシブルジョイント	50A ベローズ型(単式)	個	1			
3	タンクゲージ		個	1			
4	薬品納入ホース用ケノ管		個	1			
	小計						
5	配管附属品撤去		式	1			
	小計						
	合計						

令和7年度高座施設組合屋内温水プール設備補修
 中科目別内訳書

11-1-2-1

屋外次亜塩素酸タンク廻り配管補修

機械室配管交換費

(1式当り)

	名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
	配管取付						
1	VP管16mm		m	1.10			
2	VP管13mm		m	0.45			
	小計						
	配管撤去						
3	VP管16mm		m	1.10			
4	VP管13mm		m	0.45			
	小計						
	合計						

令和7年度高座施設組合屋内温水プール設備補修
 中科目別内訳書

11-1-2-2

屋外次亜塩素酸タンク廻り配管補修

機械室配管附属品交換費

(1式当り)

	名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
	配管附属品取付						
1	ボールバルブ		個	3			
	小計						
	配管附属品撤去						
2	ボールバルブ		個	3			
	小計						
	合計						

令和7年度高座施設組合屋内温水プール設備補修
 中科目別内訳書

12-1

プール強制シャワー（女子側）電磁弁交換及び配管改修

補修費

（1式当り）

	名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
1	電磁弁交換	ボールバルブ交換を含む	式	1			
2	配管交換		m	3.5			
3	保温補修	簡易ウレタン 材工共	式	1			
4	既設品撤去		式	1			12-1-1参照
	合計						

令和7年度高座施設組合屋内温水プール設備補修
細目別内訳書

12-1-1

プール強制シャワー（女子側）電磁弁交換及び配管改修

既設品撤去費

(1式当り)

	名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
1	既設配管撤去		m	3.5			弁、継手類の撤去を含む
2	既設保温撤去		m	3.5			
	合計						

令和7年度高座施設組合屋内温水プール設備補修
 中科目別内訳書

13-1

一般受水槽定水位弁交換

(1式当り)

	名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
1	定水位弁交換		式	1			13-1-1参照
2	配管交換		式	1			13-1-2参照
3	仕切弁交換		個	2			
4	保温交換		式	1			13-1-4参照
	合計						

令和7年度高座施設組合屋内温水プール設備補修
細目別内訳書

13-1-1

一般受水槽定水位弁交換

定水位弁取付費

(1式当り)

	名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
1	取付		組	2			
	合計						

令和7年度高座施設組合屋内温水プール設備補修
細目別内訳書

13-1-2

一般受水槽定水位弁交換

配管交換費

(1式当り)

	名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
	配管取付						
1	SGP-VB 20A	1m×2箇所	m	2			
2	SGP-VB 25A	2m×2箇所	m	4			
	小計						
	既設配管撤去						
3	SGP-VB 20A		m	2			
4	SGP-VB 25A		m	4			
	小計						
	合計						

令和7年度高座施設組合屋内温水プール設備補修
細目別内訳書

13-1-4

一般受水槽定水位弁交換

保温交換費

(1式当り)

	名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
	保温取付						
1	SGP-VB 20A	1m×2箇所	m	2			
2	SGP-VB 25A	2m×2箇所	m	4			
	小計						
	既設保温撤去						
3	SGP-VB 20A		m	2			
4	SGP-VB 25A		m	4			
	小計						
	合計						

令和7年度高座施設組合屋内温水プール設備補修
 中科目別内訳書

13-2

一般受水槽定水位弁交換

材料費

(1式当り)

	名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
1	定水位弁	FMバルブ 3型-20A ねじ込み式 副弁含む	個	2			
2	消耗品・雑材料・機工具損料		式	1			
	合計						

令和7年度高座施設組合屋内温水プール設備補修
 中科目別内訳書

14-1

キュービクル有圧換気扇用ウェザークカバー交換

ウェザークカバー交換費

(1式当り)

	名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
1	ウェザークカバー取付	電工	人				
2		設備機械工	人				
3	既設カバー撤去		式	1			
4	電気主任技術者立会い		式	1			
5	その他(下請経費相当分)		式	1			
	合計						

令和7年度高座施設組合屋内温水プール設備補修
 中科目別内訳書

14-2

キュービクル有圧換気扇用ウェザークカバー交換

材料費

(1式当り)

	名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
1	ウェザークカバー	W-25TDB 排気型防火タイプ(三菱)	個	1			
2	消耗品・雑材料・機工具損料	(1)×3%(30,000円以下)	式	1			
	合計						

令和7年度高座施設組合屋内温水プール設備補修
 中科目別内訳書

16-2

ヒート内給水管漏水補修

材料費

(1式当り)

	名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
1	ストラブゲリップ	(Gタイプ) 65A 一般配管用(標準品)	個	1			
2	消耗品・雑材料・機工具損料		式	1			
	合計						

令和7年度高座施設組合屋内温水プール設備補修
 中科目別内訳書

17-1

幼児プール循環配管漏水補修

配管交換費

(1式当り)

	名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
	取付						
1	HIVP管	50mm 材工共	m	1			
2	HIVP管	65mm 材工共	m	1			
	小計						
	撤去						
3	HIVP管	50mm	m	1			
4	HIVP管	65mm	m	1			
	小計						
	合計						

